

RY02-Q001 総則 > 目的・用語の定義・自動車の種別 難易度:1

道路運送車両法が、登録・保安基準・点検整備・検査などの制度を設けている目的として最も適切なものはどれか。

- ア. 道路運送車両について所有権の公証等、安全性の確保、公害防止その他の環境保全、整備技術の向上等を図り、公共の福祉を増進すること。
- イ. 道路の新設と維持管理だけを国が一元的に行うこと。
- ウ. 自動車運転免許の種類と取得要件だけを定めること。
- エ. 旅客運賃を全国一律に固定することだけを目的とする。

正答：ア

- ア ○ 法第1条の目的に沿う。登録・安全・環境・整備の各制度を通じ公共の福祉を増進する。
- イ × 道路そのものの整備だけを目的とする法律ではない。
- ウ × 運転免許制度の中心法令は道路交通法である。
- エ × 運賃制度だけを目的とする法律ではない。

総合解説：旅客試験でも道路運送車両法は、登録・検査・点検整備・保安基準を一体で理解する。

RY02-Q002 総則 > 目的・用語の定義・自動車の種別 難易度:2

道路運送車両法にいう「道路運送車両」の組合せとして正しいものはどれか。

- ア. 自動車及び鉄道車両
- イ. 自動車、原動機付自転車及び軽車両
- ウ. 自動車、航空機及び船舶
- エ. 自動車及び原動機付自転車のみ

正答：イ

- ア × 鉄道車両は含まれない。
- イ ○ 法第2条第1項は、道路運送車両を「自動車、原動機付自転車及び軽車両」と定義する。
- ウ × 航空機・船舶は含まれない。
- エ × 軽車両も含まれるため不十分である。

総合解説：「道路運送車両」は自動車だけを指す語ではない。

RY02-Q003 総則 > 目的・用語の定義・自動車の種別 難易度:1

道路運送車両法上の「自動車」の説明として最も適切なものはどれか。

- ア. 人力で移動する用具をすべていう。
- イ. 軌条を走行する鉄道車両を含む。
- ウ. 原動機により陸上を移動させるために製作された、軌条又は架線を用いない用具等で、原動機付自転車を除くもの。
- エ. 原動機付自転車だけをいう。

正答：ウ

- ア × 人力によるものは軽車両の定義に関係する。
- イ × 軌条を用いる鉄道車両はこの定義から外れる。
- ウ ○ 法第2条第2項の定義に沿う。原動機を用い、軌条・架線を原則用いず、原動機付自転車を除く。
- エ × 原動機付自転車は自動車の定義から除外される。

総合解説：道路交通法上の用語と混同せず、車両法独自の定義を押さえる。

RY02-Q004 総則 > 目的・用語の定義・自動車の種別 難易度:2

道路運送車両法上の「軽車両」の説明として正しいものはどれか。

- ア. 排気量660cc以下の四輪自動車だけをいう。
- イ. 原動機で走るすべての二輪車をいう。
- ウ. 道路以外でのみ使用する建設機械をいう。
- エ. 人力又は畜力により陸上を移動させるために製作された、軌条又は架線を用いない用具等で政令で定めるもの。

正答：エ

- ア × これは一般に軽自動車の説明に近く、軽車両とは別概念である。
- イ × 原動機を用いる二輪車を一括して軽車両とはしない。
- ウ × 建設機械一般を軽車両とする定義ではない。
- エ ○ 法第2条第4項は、人力・畜力を基本とする用具等を軽車両と定義している。

総合解説：「軽車両」と「軽自動車」は全く別の法的区分である。

RY02-Q005 総則 > 目的・用語の定義・自動車の種別 難易度:3

道路運送車両法にいう「運行」の説明として最も適切なものはどれか。

- ア. 人や物を実際に運送しているかどうかにかかわらず、道路運送車両をその装置の用い方に従い道路で用いること。
- イ. 旅客を有償で乗せている場合だけをいう。
- ウ. 事業用バスが営業運行中である場合だけをいう。
- エ. 道路以外の私有地の構内だけで使用する場合も必ず運行に含まれる。

正答：ア

- ア ○ 正しい。人・物の運送の有無を問わず、道路で車両を用いることをいう。
- イ × 回送など旅客を乗せていない場合でも運行となり得る。
- ウ × 営業中のバスだけに限定されない。
- エ × 道路で用いることが定義の中心である。

総合解説：『回送だから運行ではない』という誤解を避ける。

RY02-Q006 総則 > 目的・用語の定義・自動車の種別 難易度:2

道路運送車両法にいう「道路」に含まれるものとして最も適切なものはどれか。

- ア. 道路法による国道だけ
- イ. 道路法による道路、道路運送法による自動車道及びその他の一般交通の用に供する場所
- ウ. 高速自動車国道だけ
- エ. 公有地に設けられた道路だけ

正答：イ

- ア × 国道だけに限定されない。
- イ ○ 法第2条第6項の道路は、道路法上の道路等に加え「その他の一般交通の用に供する場所」も含む。
- ウ × 高速道路だけに限定されない。
- エ × 所有主体が公か私かで決まらず、一般交通への供用が重要である。

総合解説：定義上の道路は、法律名が付いた道路だけではない。

RY02-Q007 総則 > 目的・用語の定義・自動車の種別 難易度:1

道路運送車両法上の「自動車運送事業」の定義について正しいものはどれか。

- ア. 旅客自動車運送事業だけをいい貨物事業は一切含まない。
- イ. 自家用自動車による無償送迎だけをいう。
- ウ. 道路運送法による自動車運送事業をいい、貨物軽自動車運送事業は除かれる。
- エ. 鉄道事業を含むすべての陸上運送事業をいう。

正答：ウ

- ア × 旅客だけに限定される定義ではない。
- イ × 自家用無償送迎を指す定義ではない。
- ウ ○ 正しい。道路運送車両法上の定義として道路運送法の自動車運送事業を参照し、貨物軽自動車運送事業を除く。
- エ × 鉄道事業は含まれない。

総合解説：旅客試験でも車両法独自の用語定義を正確に押さえる。

RY02-Q008 総則 > 目的・用語の定義・自動車の種別 難易度:2

道路運送車両法上の自動車の種別を定める基準として正しい組合せはどれか。

- ア. 車体色・所有者の年齢・購入価格
- イ. 運転者の免許歴・年間走行距離・旅客又は手荷物価格
- ウ. 自動車税額・保険料・燃料価格
- エ. 大きさ・構造、原動機の種類、総排気量又は定格出力

正答：エ

- ア × 種別判定の法定基準ではない。
- イ × 運転者属性や旅客又は手荷物価格で車両種別は決まらない。
- ウ × 税・保険・燃料価格は種別判定の直接基準ではない。
- エ ○ 法第3条は、大きさ・構造と原動機の種類、総排気量又は定格出力を基準として省令で種別を定める。

総合解説：種別は「車両そのものの構造・原動機」に基づく。

RY02-Q009 総則 > 目的・用語の定義・自動車の種別 難易度:2

道路運送車両法に規定される自動車の種別の組合せとして正しいものはどれか。

- ア. 普通自動車、小型自動車、軽自動車、大型特殊自動車、小型特殊自動車
- イ. 大型自動車、中型自動車、準中型自動車、普通自動車
- ウ. 第一種自動車、第二種自動車、特殊自動車
- エ. 営業用自動車、自家用自動車、レンタカーだけ

正答：ア

- ア ○ 車両法の種別は、普通・小型・軽・大型特殊・小型特殊の5区分である。
- イ × これは主として運転免許の区分であり、車両法の種別とは異なる。
- ウ × そのような3区分ではない。
- エ × 用途や業態の区分と車両法上の種別は別である。

総合解説：道路交通法の免許区分と道路運送車両法の車種区分を混同しない。

RY02-Q010 総則 > 目的・用語の定義・自動車の種別 難易度:3

登録を受けなければ運行の用に供することができない「登録自動車」の対象について正しいものはどれか。

- ア. 軽自動車だけが登録対象である。
- イ. 原則として自動車が対象だが、軽自動車、小型特殊自動車及び二輪の小型自動車は登録制度の対象から除かれる。
- ウ. すべての原動機付自転車も国の自動車登録ファイルへの登録が必要である。
- エ. 自動車は種類を問わずすべて同じ登録制度の対象である。

正答：イ

- ア × 軽自動車は国の登録自動車制度とは別の取扱いである。
- イ ○ 法第4条の登録制度は、軽自動車、小型特殊自動車及び二輪の小型自動車を除く自動車を対象とする。
- ウ × 原動機付自転車を自動車登録ファイルに登録する仕組みではない。
- エ × 明文の除外があるため誤り。

総合解説：「検査対象」と「登録対象」は一致しない場合があるため区別する。

RY02-Q011 総則 > 目的・用語の定義・自動車の種別 難易度:1

登録自動車の所有権の得喪について、道路運送車両法上正しいものはどれか。

- ア. 売買契約書があれば登録がなくても必ず第三者に対抗できる。
- イ. 自動車の所有権は登録の有無にかかわらず第三者対抗関係に影響しない。
- ウ. 登録を受けなければ、所有権の得喪を第三者に対抗することができない。
- エ. 登録は税務のためだけの制度で所有権の公証機能はない。

正答：ウ

- ア × 売買契約の存在だけで車両法上の対抗要件を満たすとは限らない。
- イ × 登録の有無は第三者対抗に関係する。
- ウ ○ 法第5条は、登録を所有権の得喪の第三者対抗要件としている。
- エ × 車両法の目的には所有権の公証等が明記されている。

総合解説：登録には運行許可だけでなく、所有権の公証機能もある。

RY02-Q012 総則 > 目的・用語の定義・自動車の種別 難易度:2

道路運送車両法上の「軽自動車」と「軽車両」の関係について最も適切なものはどれか。

- ア. 両者は同じ意味である。
- イ. 軽車両は軽自動車のうち事業用に限った名称である。
- ウ. 軽自動車は道路運送車両には含まれない。
- エ. 「軽自動車」は自動車の一種であり、「軽車両」は人力・畜力を基本とする別概念である。

正答：エ

- ア × 用語の定義が異なる。
- イ × 事業用・自家用の別で呼び分けるものではない。
- ウ × 軽自動車も道路運送車両に含まれる。
- エ ○ 軽自動車は法第3条の自動車種別の一つ、軽車両は法第2条第4項の別カテゴリである。

総合解説：名称が似ていても法体系上の位置付けは異なる。

RY02-Q013 自動車の登録 > 新規・変更・移転・抹消登録 難易度:1

登録対象自動車を新たに運行の用に供しようとする場合の原則として正しいものはどれか。

- ア. 自動車登録ファイルへの登録を受けた後でなければ運行の用に供することができない。
- イ. 自賠責保険に加入していれば登録前でも自由に運行できる。
- ウ. 売買契約が成立していれば登録は不要である。
- エ. 登録番号標を自作して表示すれば登録前でも運行できる。

正答：ア

- ア ○ 法第4条により、登録対象自動車は登録を受けなければ運行できない。
- イ × 保険加入と登録義務は別問題である。
- ウ × 所有権移転と登録による運行要件は別である。
- エ × 自作の番号標で登録に代えることはできない。

総合解説：登録・検査・自賠責はそれぞれ別の要件として管理する必要がある。

RY02-Q014 自動車の登録 > 新規・変更・移転・抹消登録 難易度:2

新規登録の申請と新規検査の関係について正しいものはどれか。

- ア. 新規登録は新規検査の5年後に行う。
- イ. 登録対象自動車では、新規登録の申請は原則として新規検査の申請等と同時に行う。
- ウ. 新規検査と新規登録は同一車両では絶対に同時申請できない。
- エ. 新規検査に合格しても新規登録は法律上不要である。

正答：イ

- ア × 時期が全く異なる制度ではない。
- イ ○ 法第7条第6項・第59条第2項は、登録対象車について新規登録と新規検査の同時申請を基本としている。
- ウ × むしろ同時申請が原則である。
- エ × 登録対象車は新規登録が必要である。

総合解説：登録と検査は別制度だが、新規時には手続が連動する。

RY02-Q015 自動車の登録 > 新規・変更・移転・抹消登録 難易度:3

新規登録の基準に関する記述として正しいものはどれか。

- ア. 所有権の確認は一切行われない。
- イ. 車台番号と申請書の記載が一致しなくても必ず登録される。
- ウ. 申請者が当該自動車の所有権を有すると認められない場合は、新規登録をしない理由となる。
- エ. 申請事項に虚偽があっても登録を拒むことはできない。

正答：ウ

- ア × 所有権は新規登録審査の重要事項である。
- イ × 車台番号等の同一性確認は重要である。
- ウ ○ 法第8条は、所有権が認められない場合や車台番号等の不一致、虚偽等を新規登録をしない場合として規定する。
- エ × 虚偽の申請は登録を拒む理由となる。

総合解説：登録制度は車両と権利者の同一性・真正性を担保する仕組みでもある。

RY02-Q016 自動車の登録 > 新規・変更・移転・抹消登録 難易度:2

登録自動車の所有者の住所が変わった場合の原則的な手続として正しいものはどれか。

- ア. 1年以内に任意で変更すればよい。
- イ. 所有者変更がない限り住所変更は登録手続不要である。
- ウ. 必ず永久抹消登録を行う。
- エ. 変更事由があった日から15日以内に変更登録を申請する。

正答：エ

- ア × 法定期限は1年ではない。
- イ × 住所変更も変更登録の対象である。
- ウ × 住所変更は抹消事由ではない。
- エ ○ 法第12条は、所有者の氏名・名称・住所等の変更について15日以内の変更登録を求める。

総合解説：変更登録の15日ルールは頻出である。

RY02-Q017 自動車の登録 > 新規・変更・移転・抹消登録 難易度:1

登録自動車の使用の本拠の位置に変更があった場合について正しいものはどれか。

- ア. 原則として、その事由があった日から15日以内に変更登録を申請する。
- イ. 使用の本拠は登録事項ではないため手続不要である。
- ウ. 変更後30日を経過してから初めて申請できる。
- エ. 必ず移転登録で処理する。

正答：ア

- ア ○ 使用の本拠の位置は変更登録の対象事項であり、原則15日以内の申請が必要である。
- イ × 使用の本拠も登録に係る。
- ウ × 待機期間はない。
- エ × 所有者変更ではないため通常は移転登録ではない。

総合解説：「住所変更」「使用の本拠変更」「所有者変更」を手続別に区別する。

RY02-Q018 自動車の登録 > 新規・変更・移転・抹消登録 難易度:2

登録自動車の所有者が売買により変更された場合、新所有者が行う手続として正しいものはどれか。

- ア. 変更登録を5年以内に行えばよい。
- イ. 所有者変更の日から15日以内に移転登録を申請する。
- ウ. 所有者変更でも登録手続は不要である。
- エ. 直ちに一時抹消登録をしなければならない。

正答：イ

- ア × 所有者変更は移転登録であり期限も5年ではない。
- イ ○ 法第13条は、所有者の変更があったとき、新所有者に15日以内の移転登録申請を求める。
- ウ × 名義変更は登録上の手続が必要である。
- エ × 使用を中止するとは限らないため一時抹消ではない。

総合解説：移転登録は「所有者が変わる」場面の手続である。

RY02-Q019 自動車の登録 > 新規・変更・移転・抹消登録 難易度:2

次のうち、通常「変更登録」ではなく「移転登録」の対象となるものはどれか。

- ア. 所有者の会社名が変更された。
- イ. 所有者の住所が変更された。
- ウ. 売買により自動車の所有者がA社からB社へ変わった。
- エ. 使用の本拠の位置が変更された。

正答：ウ

- ア × 名称変更は変更登録の対象となる。
- イ × 住所変更は変更登録の対象となる。
- ウ ○ 所有者そのものが変わる場合は移転登録である。
- エ × 使用の本拠変更も変更登録の対象となる。

総合解説：「所有者の属性変更」と「所有者そのものの変更」を分けて考える。

RY02-Q020 自動車の登録 > 新規・変更・移転・抹消登録 難易度:3

登録自動車が解体され、再び自動車として使用しない場合の手續として最も適切なものはどれか。

- ア. 移転登録だけを行う。
- イ. 変更登録だけを行う。
- ウ. 継続検査だけを受ける。
- エ. 永久抹消登録を申請する。

正答：エ

- ア × 所有者変更ではない。
- イ × 登録事項の単なる変更ではない。
- ウ × 再使用しない車両の手續として継続検査は適切でない。
- エ ○ 法第15条は、登録自動車が滅失・解体（整備や改造のための解体を除く）等した場合の永久抹消登録を規定する。

総合解説：一時中止か、再使用しない解体等かで抹消手續を区別する。

RY02-Q021 自動車の登録 > 新規・変更・移転・抹消登録 難易度:1

登録自動車の使用を当面中止するが、将来再使用する可能性がある場合に選択される手続として適切なものはどれか。

- ア. 一時抹消登録
- イ. 永久抹消登録のみ
- ウ. 移転登録
- エ. 車検証の有効期間更新だけ

正答：ア

- ア ○ 一時抹消登録は、自動車の使用を一時中止する場合の登録手続である。
- イ × 再使用の可能性がある「一時中止」と永久抹消は区別する。
- ウ × 所有者変更の手続ではない。
- エ × 検査有効期間の更新と使用中止の登録手続は別である。

総合解説：抹消登録は「一時中止」と「再使用しない廃止」を区別する。

RY02-Q022 自動車の登録 > 新規・変更・移転・抹消登録 難易度:2

登録自動車の登録事項に関する証明書について正しいものはどれか。

- ア. 登録内容を証明する公的書面は存在しない。
- イ. 法定の手続により、登録事項等証明書の交付を請求する制度がある。
- ウ. 所有者本人以外はどのような場合も請求できない。
- エ. 登録事項は運輸支局でも一切確認できない。

正答：イ

- ア × 証明制度がある。
- イ ○ 法第22条は登録事項等証明書の交付請求制度を置いている。
- ウ × 法は「何人も」請求できる旨を規定するが、実務上は請求理由等の要件がある。
- エ × 登録情報は法定手続で証明される。

総合解説：登録事項等証明書は登録情報を公証する制度の一つである。

RY02-Q023 自動車の登録 > 新規・変更・移転・抹消登録 難易度:1

自動車登録ファイルを管理する者として正しいものはどれか。

- ア. 都道府県公安委員会
- イ. 自動車メーカー
- ウ. 国土交通大臣
- エ. 運送の依頼者企業

正答：ウ

- ア × 公安委員会は運転免許等に関係するが登録ファイルの管理主体ではない。
- イ × メーカーが国の登録ファイルを管理するわけではない。
- ウ ○ 法第6条は、自動車登録ファイル及び登録の電子情報処理組織を国土交通大臣が管理すると定める。
- エ × 運送の依頼者は管理主体ではない。

総合解説：登録は国の行政制度として管理される。

RY02-Q024 自動車の登録 > 新規・変更・移転・抹消登録 難易度:2

永久抹消登録等をした自動車に係る自動車登録ファイルの記録の保存について、正しいものはどれか。

- ア. 抹消登録をした時点ですべて直ちに消去される。
- イ. 保存期間は自動車の所有者が任意に決める。
- ウ. 登録記録は保存せず、申請書だけを1年間保存する。
- エ. 法定の起算日から5年間保存しなければならない。

正答：エ

- ア × 抹消後も法定期間は記録が保存される。
- イ × 保存期間は所有者の任意ではなく法律で定められる。
- ウ × 登録ファイルの記録自体に5年間の保存義務がある。
- エ ○ 道路運送車両法第21条は、永久抹消登録、輸出抹消登録又は一時抹消登録をした自動車に係る登録ファイルの記録を、それぞれ法定の起算日から5年間保存することを定めている。

総合解説：抹消後の登録記録は5年間保存される。申請書・添付書類についても、受理日から5年間の保存義務が定められている。

RY02-Q025 自動車の登録 > 新規・変更・移転・抹消登録 難易度:3

新規登録申請に虚偽の事項があると認められる場合の取扱いとして正しいものはどれか。

- ア. 新規登録をしない理由となる。
- イ. 虚偽の有無にかかわらず必ず登録しなければならない。
- ウ. 登録後にしか虚偽を確認してはならない。
- エ. 申請者が事業者なら虚偽があっても登録できる。

正答：ア

- ア ○ 法第8条は、申請事項に虚偽があると認める場合を新規登録をしない場合の一つとしている。
- イ × 真正な登録を確保するため拒否理由となる。
- ウ × 審査段階で確認対象となる。
- エ × 事業者であることによる例外はない。

総合解説：登録審査では車両の同一性と申請内容の真正性が重要である。

RY02-Q026 自動車の登録 > 新規・変更・移転・抹消登録 難易度:2

登録対象自動車の新規登録を行う場面の説明として最も適切なものはどれか。

- ア. 登録済み自動車の所有者住所だけが変った場合。
- イ. ナンバーのない新車や、一時抹消後に再び使用する中古車を登録対象車として使用しようとする場合。
- ウ. 登録済み自動車を売買して所有者だけが変った場合。
- エ. 登録済み自動車を一時的に使用中止する場合。

正答：イ

- ア × 住所変更は変更登録の場面である。
- イ ○ 国土交通省の登録ポータルは、新車新規と抹消した車の再使用（中古車新規）を新規登録の代表例としている。
- ウ × 所有者変更は移転登録の場面である。
- エ × 一時使用中止は一時抹消登録の場面である。

総合解説：登録の種類は「何が変ったか」「今後使用するか」で判断する。

RY02-Q027 自動車の登録 > 新規・変更・移転・抹消登録 難易度:1

登録自動車について、所有者の氏名又は名称の変更と所有者そのものの変更の組合せとして正しいものはどれか。

- ア. どちらも永久抹消登録。
- イ. 氏名・名称の変更は移転登録、所有者変更は変更登録。
- ウ. 氏名・名称の変更は変更登録、所有者そのものの変更は移転登録。
- エ. どちらも登録手続不要。

正答：ウ

- ア × 抹消事由ではない。
- イ × 手続が逆である。
- ウ ○ 法第12条と第13条により、所有者の属性変更は変更登録、所有者の交代は移転登録となる。
- エ × いずれも登録上の手続が必要である。

総合解説：変更登録と移転登録を言葉だけでなく事例で識別する。

RY02-Q028 自動車の登録 > 自動車登録番号標 難易度:2

新規登録後の自動車登録番号標の取扱いとして正しいものはどれか。

- ア. 所有者が任意の番号を手書きして表示する。
- イ. 番号標を車内に保管すれば車外への取付けは不要である。
- ウ. 登録番号の通知を受けても番号標は不要である。
- エ. 通知された自動車登録番号を記載した番号標の交付を受け、所定の方法で車両に取り付ける。

正答：エ

- ア × 番号は国が定める登録番号に基づく。
- イ × 車外の所定位置への取付けが必要である。
- ウ × 登録対象車は番号標の取付けが必要である。
- エ ○ 法第11条は、登録番号通知後に番号標の交付を受け、所定の方法で取り付けることを求める。

総合解説：登録番号の登録だけでなく、番号標の取付け・封印までが運行要件となる。

RY02-Q029 自動車の登録 > 自動車登録番号標 難易度:2

登録自動車の封印に関する説明として最も適切なものはどれか。

- ア. 原則として後面の自動車登録番号標に封印が取り付けられる。
- イ. 前面の番号標だけに封印する。
- ウ. 左右のドアに封印する。
- エ. 封印は番号標とは無関係である。

正答：ア

- ア ○ 国土交通省の案内では、封印は後面のナンバープレートの取付け箇所に行う。
- イ × 前面だけではない。
- ウ × ドアに行う制度ではない。
- エ × 番号標の取付けと一体の制度である。

総合解説：封印は登録車の真正な番号標取付けを担保する役割を持つ。

RY02-Q030 自動車の登録 > 自動車登録番号標 難易度:3

自動車登録番号標の表示について正しいものはどれか。

- ア. 広告物で完全に覆っていても車内に番号を控えていればよい。
- イ. 番号の識別に支障が生じないよう、見やすい状態で表示しなければならない。
- ウ. 番号を読めなくするカバーを装着してよい。
- エ. 後面番号標は営業中だけ外してよい。

正答：イ

- ア × 番号を識別できない表示は不適切である。
- イ ○ 正しい。番号標は番号の識別に支障がないよう表示する必要がある。
- ウ × 識別を妨げるカバーは認められない。
- エ × 営業中か否かを問わず適切な表示が必要である。

総合解説：番号標は『装着されていること』だけでなく、外部から識別できる状態が必要である。

RY02-Q031 自動車の登録 > 自動車登録番号標 難易度:1

自動車登録番号標を他の自動車に使用することについて正しいものはどれか。

- ア. 同じ会社の車であれば自由に付け替えられる。
- イ. 車種が同じなら一時的に付け替えてよい。
- ウ. 当該自動車以外の自動車に使用してはならない。
- エ. 営業所が同じなら付け替えは自由である。

正答：ウ

- ア × 会社が同じでも別車両への流用はできない。
- イ × 車種一致は例外理由にならない。
- ウ ○ 法第98条は、番号標等を当該自動車以外の自動車に使用することを禁止する。
- エ × 営業所が同じでも別車両への使用は禁止される。

総合解説：番号標は車両固有の登録情報と結び付く。

RY02-Q032 自動車の登録 > 自動車登録番号標 難易度:2

自動車登録番号標を偽造又は変造して使用する行為について正しいものはどれか。

- ア. 会社名が表示されていれば認められる。
- イ. 夜間だけなら認められる。
- ウ. 実際の登録番号と近ければ認められる。
- エ. 法律で禁止されている。

正答：エ

- ア × 会社表示は免責にならない。
- イ × 時間帯による例外はない。
- ウ × 番号の類似性ではなく真正な番号標であることが必要である。
- エ ○ 法第98条は、行使の目的をもった番号標等の偽造・変造や、その使用を禁止する。

総合解説：偽造・変造・他車流用はいずれも番号標制度を害する。

RY02-Q033 自動車の登録 > 自動車登録番号標 難易度:1

転居等により管轄が変わり自動車登録番号が変更となる場合の実務として適切なものはどれか。

- ア. 変更登録等に伴い新しい番号標へ変更し、旧番号標は所定の手続で返納する。
- イ. 旧番号標を記念品として保持し、新番号標を表示しない。
- ウ. 旧番号標と新番号標を同時に重ねて表示する。
- エ. 番号変更があっても封印は一切関係しない。

正答：ア

- ア ○ 登録番号が変更となる場合は番号標の変更・返納等が必要となる。
- イ × 旧番号標を自由に保持する制度ではない。
- ウ × 番号標を重ねて表示する方法ではない。
- エ × 登録車では新番号標の取付けに封印が関係する。

総合解説：管轄変更では登録事項だけでなく番号標の実車手続も発生し得る。

RY02-Q034 自動車の登録 > 自動車登録番号標 難易度:2

登録対象自動車が国の登録を受けた後、運行の用に供するための要件として最も適切なものはどれか。

- ア. 登録だけ受ければ番号標は不要である。
- イ. 登録を受け、番号標を取り付け、必要な封印を受ける。
- ウ. 番号標だけ購入すれば登録は不要である。
- エ. 会社の車両番号を表示すれば国の番号標は不要である。

正答：イ

- ア × 番号標等も運行要件に関係する。
- イ ○ 国土交通省の登録概要は、登録対象自動車は登録、ナンバープレート取付け、封印を受けなければ運行できないと説明している。
- ウ × 番号標の取得だけで登録に代えることはできない。
- エ × 社内管理番号は法定番号標の代替ではない。

総合解説：登録・番号標・封印を一連の要件として理解する。

RY02-Q035 自動車の登録 > 自動車登録番号標 難易度:3

ナンバープレートを紛失又は盗難した登録自動車について適切な対応はどれか。

- ア. 段ボールに同じ番号を書いて代用する。
- イ. 番号標がなくても車検証があればそのまま運行する。
- ウ. 所定の番号変更等の手続を行い、必要な番号標を再び適法に取り付ける。
- エ. 他車の番号標を借りて運行する。

正答：ウ

- ア × 自作表示は法定番号標ではない。
- イ × 車検証だけで番号標表示義務を免れない。
- ウ ○ 国土交通省の登録手続では、番号標の紛失・盗難・毀損には番号変更手続が用意されている。
- エ × 他車の番号標使用は禁止される。

総合解説：紛失時は勝手な代用品ではなく正式な再手続を行う。

RY02-Q036 自動車の登録 > 臨時運行の許可 難易度:2

臨時運行許可制度の説明として最も適切なものはどれか。

- ア. 車検切れ車を日常配送に自由に使うための制度。
- イ. 登録を永久に不要とする制度。
- ウ. 事業用自動車の運賃を臨時に変更する制度。
- エ. 未登録車の新規検査・登録や車検切れ車の継続検査など、目的・期間・経路を特定して特例的に公道運行を認める制度。

正答：エ

- ア × 日常営業の代替制度ではない。
- イ × 恒久的な登録免除ではない。
- ウ × 運賃制度とは無関係である。
- エ ○ 臨時運行許可は、検査・登録のための移動等、限定された目的について特例的に運行を認める。

総合解説：「仮ナンバー」は目的・期間・経路が限定された例外制度である。

RY02-Q037 自動車の登録 > 臨時運行の許可 難易度:1

臨時運行許可の運行期間について、国土交通省の現行案内として正しいものはどれか。

- ア. 必要最小限の日数で、5日を上限とする。
- イ. 一律30日
- ウ. 一律1年間
- エ. 期間の上限はなく申請者が自由に決める。

正答：ア

- ア ○ 北陸信越運輸局の案内では、臨時運行の期間は必要最小限の日数で5日を上限としている。
- イ × 30日ではない。
- ウ × 1年間の長期許可ではない。
- エ × 申請者の自由設定ではない。

総合解説：臨時運行は短期間の特例である。

RY02-Q038 自動車の登録 > 臨時運行の許可 難易度:2

臨時運行許可における運行経路として適切なものはどれか。

- ア. 観光を兼ねた自由な迂回経路
- イ. 申請目的を達成するための出発地から到着地までの合理的な最短経路。
- ウ. 営業所の都合で全国どこでも走れる包括経路
- エ. 申請時に経路を特定しなくてもよい。

正答：イ

- ア × 目的外の迂回は臨時運行の趣旨に反する。
- イ ○ 現行案内では、運行経路は目的に必要な合理的な最短経路として特定する。
- ウ × 全国包括の自由運行制度ではない。
- エ × 経路の特定が制度の要件である。

総合解説：目的・期間・経路の限定が臨時運行許可の核心である。

RY02-Q039 自動車の登録 > 臨時運行の許可 難易度:2

臨時運行許可を受ける車両について、自動車損害賠償責任保険（共済）の取扱いとして正しいものはどれか。

- ア. 臨時運行中は自賠責が不要である。
- イ. 許可期間の翌日から有効な証明書でもよい。
- ウ. 許可期間をカバーする有効な証明書が必要である。
- エ. 任意保険に加入していれば自賠責の証明は不要である。

正答：ウ

- ア × 臨時運行でも自賠責の要件は無視できない。
- イ × 許可期間中に有効でなければならない。
- ウ ○ 臨時運行許可の申請では、許可期間をカバーする自賠責保険（共済）証明書が必要とされる。
- エ × 任意保険は自賠責の代替ではない。

総合解説：仮ナンバー取得と自賠責の有効期間をセットで確認する。

RY02-Q040 自動車の登録 > 臨時運行の許可 難易度:3

車検切れのバスを単なる試乗目的で公道走行させたい。臨時運行許可について最も適切な説明はどれか。

- ア. 試乗であれば必ず臨時運行許可が認められる。
- イ. 旅客を乗せれば通常の営業運行にも利用できる。
- ウ. 他車の臨時運行許可番号標を借りればよい。
- エ. 単なる試乗は原則として許可対象外であり、検査・登録等の法定目的に沿う必要がある。

正答：エ

- ア × 単なる試乗は当然の許可理由ではない。
- イ × 営業運送の代替制度ではない。
- ウ × 許可番号標を他車から流用してはならない。
- エ ○ 正しい。臨時運行許可は検査・登録等のための限定的な制度である。

総合解説：車検切れなら何でも走れる制度ではない。

RY02-Q041 自動車の登録 > 臨時運行の許可 難易度:1

臨時運行許可の対象車両に関する国土交通省の案内として正しいものはどれか。

- ア. 普通自動車・小型自動車・軽自動車・大型特殊自動車・検査対象の二輪の小型自動車などが対象となり得る。
- イ. 普通自動車だけに限定される。
- ウ. 自転車だけを対象とする。
- エ. 鉄道車両を対象とする。

正答：ア

- ア ○ 現行案内では、普通・小型・軽・大型特殊・検査対象の二輪小型自動車などが対象として示されている。
- イ × 普通自動車だけではない。
- ウ × 自転車の仮ナンバー制度ではない。
- エ × 鉄道車両の制度ではない。

総合解説：対象車種は広いが、許可目的は限定される点に注意する。

RY02-Q042 自動車の検査 > 新規・継続・構造等変更・臨時検査 難易度:2

道路運送車両法上、検査対象自動車を運行の用に供するための基本要件として正しいものはどれか。

- ア. 運転者が大型免許を持っていれば車検証は不要である。
- イ. 国土交通大臣の行う検査を受け、有効な自動車検査証の交付を受けていること。
- ウ. 自賠責保険だけ有効なら検査は不要である。
- エ. 事業者が自社点検を行えば国の検査制度は適用されない。

正答：イ

- ア × 運転免許と車両検査は別制度である。
- イ ○ 法第58条は、検査対象自動車に有効な自動車検査証を要求する。
- ウ × 自賠責と車検は別要件である。
- エ × 自社点検だけで法定検査に代えることはできない。

総合解説：車両の運行要件として「有効な車検証」を確認する。

RY02-Q043 自動車の検査 > 新規・継続・構造等変更・臨時検査 難易度:1

新規検査を受ける代表的な場面として正しいものはどれか。

- ア. 有効な車検証の期間中に住所だけが変わったとき。
- イ. 日常点検でタイヤ空気圧を調整したとき。
- ウ. 新たに自動車を使用するときや、ナンバーのない中古車を再び使用するとき。
- エ. 運転者が交代したとき。

正答：ウ

- ア × 住所変更は登録・車検証記録の変更に關する手続である。
- イ × 通常の整備で新規検査にはならない。
- ウ ○ 国土交通省の案内では、新規検査は新たに使用する自動車やナンバーのない中古車が対象となる。
- エ × 運転者交代は車両検査の種類を変えない。

総合解説：「車両を新たに公道で使用する」場面が新規検査の中心である。

RY02-Q044 自動車の検査 > 新規・継続・構造等変更・臨時検査 難易度:2

継続検査の説明として最も適切なものはどれか。

- ア. 所有者が変わったときだけ受ける検査。
- イ. 車体色を洗車で変えたときに受ける検査。
- ウ. 登録を永久に抹消するときの検査。
- エ. 自動車検査証の有効期間満了後も引き続き自動車を使用しようとするときに受ける検査。

正答：エ

- ア × 所有者変更は移転登録の論点である。
- イ × 洗車は構造変更ではない。
- ウ × 抹消は使用継続のための検査ではない。
- エ ○ 継続検査は、車検証の有効期間を更新し引き続き使用するための検査である。

総合解説：一般に「車検」と呼ばれる中心手続が継続検査である。

RY02-Q045 自動車の検査 > 新規・継続・構造等変更・臨時検査 難易度:3

バスを改造し、長さ・幅・高さや乗車定員等に変更が生じる場合に検討すべき検査はどれか。

- ア. 構造等変更検査
- イ. 継続検査だけ
- ウ. 臨時運行許可だけ
- エ. 運転免許の更新だけ

正答：ア

- ア ○ 正しい。構造・用途・乗車定員等に一定の変更が生じる改造では構造等変更検査を検討する。
- イ × 単なる継続検査だけでは変更内容の確認にならない。
- ウ × 臨時運行許可は検査そのものではない。
- エ × 運転免許更新とは別制度である。

総合解説：旅客車では座席配置変更などが乗車定員や構造に影響する場合がある。

RY02-Q046 自動車の検査 > 新規・継続・構造等変更・臨時検査 難易度:2

臨時検査の説明として最も適切なものはどれか。

- ア. 事業者が任意に毎月行う社内検査。
- イ. 一定の自動車について事故が著しく生じるなど、構造・装置又は性能が保安基準に適合していないおそれがある場合に、国土交通大臣が期間を公示して行う検査。
- ウ. 車検切れ車を運輸支局まで走らせるための許可。
- エ. 新車を初めて登録する際の検査。

正答：イ

- ア × 社内検査ではない。
- イ ○ 臨時検査は特定の車種・型式等に保安上の懸念があるときに公示して実施される法定検査である。
- ウ × それは臨時運行許可の説明である。
- エ × 新車時は新規検査である。

総合解説：「臨時検査」と「臨時運行許可」は名称が似るが別制度である。

RY02-Q047 自動車の検査 > 新規・継続・構造等変更・臨時検査 難易度:1

登録を受けていない登録対象自動車を運行の用に供しようとする場合の組合せとして適切なものはどれか。

- ア. 継続検査だけを行い登録はしない。
- イ. 移転登録だけを行い検査はしない。
- ウ. 原則として新規検査と新規登録を連動して行う。
- エ. 日常点検だけで新規検査・登録を省略する。

正答：ウ

- ア × 登録前の車両に継続検査だけという整理は適切でない。
- イ × 所有者移転だけの場面ではない。
- ウ ○ 法第59条等により、登録対象車の新規検査は新規登録と連動する。
- エ × 日常点検と法定新規検査は別である。

総合解説：新規時は「登録」と「検査」をセットで理解する。

RY02-Q048 自動車の検査 > 新規・継続・構造等変更・臨時検査 難易度:2

現在使用中の事業用バスの車検証有効期間を更新し、同じ構造のまま引き続き使用する場合に通常受ける検査はどれか。

- ア. 新規検査
- イ. 構造等変更検査
- ウ. 臨時検査
- エ. 継続検査

正答：エ

- ア × 新規検査は新たに使用する際の検査である。
- イ × 構造等の変更がない事例である。
- ウ × 臨時検査は国土交通大臣が必要と認めた場合等の制度である。
- エ ○ 正しい。既に使用中の自動車について有効期間を更新する通常の検査は継続検査である。

総合解説：検査名称を事例から選べるようにする。

RY02-Q049 自動車の検査 > 新規・継続・構造等変更・臨時検査 難易度:2

バスの座席配置を変更し、乗車定員や車体構造に影響が生じる改造を行った。最も適切な対応はどれか。

- ア. 必要な構造等変更検査を受け、変更後の構造等が保安基準に適合するか確認する。
- イ. 車検証の有効期間が残っていれば一切の検査は不要である。
- ウ. 運行管理者が承認すれば検査は不要である。
- エ. 旅行会社が同意すれば検査は不要である。

正答：ア

- ア ○ 正しい。乗車定員等に影響する構造変更は車検証情報・保安基準との整合確認が必要となる。
- イ × 有効期間が残っていることだけで変更手続が不要になるわけではない。
- ウ × 運行管理者の社内判断は法定検査の代替ではない。
- エ × 取引先の同意は検査義務の代替ではない。

総合解説：旅客車では乗車定員に影響する改造を安易に行わない。

RY02-Q050 自動車の検査 > 新規・継続・構造等変更・臨時検査 難易度:3

臨時検査を受けるべき旨が公示された自動車について正しい対応はどれか。

- ア. 通常の車検有効期間が残っていれば臨時検査を無視できる。
- イ. 公示された期間等に従い臨時検査を受ける必要がある。
- ウ. 会社独自点検を行えば法定臨時検査は不要となる。
- エ. 運転者が安全だと感じれば受検しなくてよい。

正答：イ

- ア × 通常車検の残存期間だけで免除される制度ではない。
- イ ○ 臨時検査は国土交通大臣が一定の自動車について公示して実施する法定検査である。
- ウ × 自社点検は法定臨時検査の代替ではない。
- エ × 主観的判断で受検義務は消えない。

総合解説：臨時検査は安全上の特別な懸念に対応する制度である。

RY02-Q051 自動車の検査 > 新規・継続・構造等変更・臨時検査 難易度:1

指定自動車整備事業者から有効な保安基準適合証の交付を受けた車両の継続検査について正しいものはどれか。

- ア. 保安基準適合証があっても必ず車両を国の検査場へ持ち込まなければならない。
- イ. 保安基準適合証があれば自動車検査証は永久に不要になる。
- ウ. 一定の要件のもとで、国への現車提示を省略して検査手続を行うことができる。
- エ. 保安基準適合証があれば車検の有効期間は無期限になる。

正答：ウ

- ア × 指定整備制度の意義の一つが現車提示の省略である。
- イ × 車検証そのものを不要にする制度ではない。
- ウ ○ 指定整備工場の保安基準適合証を提出することで、一定の場合に現車提示を省略できる。
- エ × 有効期間を無期限にする制度ではない。

総合解説：民間車検場制度は「検査そのものの免除」ではなく、適合証による手続の簡素化である。

RY02-Q052 自動車の検査 > 新規・継続・構造等変更・臨時検査 難易度:2

新規検査と継続検査の違いとして正しいものはどれか。

- ア. どちらも所有者変更だけを対象とする。
- イ. 新規検査は運転者、継続検査は運送の依頼者を検査する。
- ウ. 両者は法的に同一の名称で区別がない。
- エ. 新規検査は新たに使用する車両等、継続検査は有効期間更新後も引き続き使用する車両を主な対象とする。

正答：エ

- ア × 所有者変更は登録の論点である。
- イ × 検査対象は自動車である。
- ウ × 法令上別の検査種別である。
- エ ○ 検査の目的とタイミングが異なる。

総合解説：検査種別は「いつ・何のために受けるか」で区別する。

RY02-Q053 自動車の検査 > 新規・継続・構造等変更・臨時検査 難易度:1

「臨時運行許可」と「臨時検査」の違いとして正しいものはどれか。

- ア. 臨時運行許可は限定目的での公道運行の特例、臨時検査は保安基準不適合のおそれがある一定の自動車に対する特別な検査である。
- イ. 両者は同じ制度で名称だけが異なる。
- ウ. 臨時検査は仮ナンバーを貸し出す制度である。
- エ. 臨時運行許可は国が事故多発車種に一斉検査を命じる制度である。

正答：ア

- ア ○ 臨時運行許可（法34条等）と臨時検査（法63条）は目的も要件も異なる。
- イ × 別制度である。
- ウ × 仮ナンバーは臨時運行許可側の制度である。
- エ × 事故多発等への特別検査は臨時検査側である。

総合解説：名称の「臨時」に惑わされず、運行許可か検査かを区別する。

RY02-Q054 自動車の検査 > 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納） 難易度:2

旅客を運送する自動車運送事業の用に供するバス・タクシーの自動車検査証の有効期間について、原則として正しいものはどれか。

- ア. 2年
- イ. 1年
- ウ. 3年
- エ. 5年

正答：イ

- ア × 自家用乗用車などと混同している。
- イ ○ 正しい。道路運送車両法61条により、旅客を運送する自動車運送事業の用に供する自動車は原則1年である。
- ウ × 事業用旅客車の原則期間ではない。
- エ × 5年ではない。

総合解説：事業用のバス・タクシーは原則1年車検である。

RY02-Q055 自動車の検査 > 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納） 難易度:3

新車の事業用タクシーに初めて自動車検査証が交付される場合の有効期間について、原則として正しいものはどれか。

- ア. 2年
- イ. 3年
- ウ. 1年
- エ. 4年

正答：ウ

- ア × 事業用タクシーの原則ではない。
- イ × 自家用乗用車の初回3年と混同している。
- ウ ○ 正しい。旅客を運送する自動車運送事業用自動車には、自動車等にある一部の初回延長特例が適用されず原則1年である。
- エ × 4年ではない。

総合解説：『事業用旅客車』と『自家用乗用車』の車検有効期間を区別する。

RY02-Q056 自動車の検査 > 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納） 難易度:2

事業用バスについて、継続検査後の自動車検査証の有効期間として原則正しいものはどれか。

- ア. 2年
- イ. 3年
- ウ. 無期限
- エ. 1年

正答：エ

- ア × 事業用旅客車では原則2年ではない。
- イ × 自家用乗用車等と混同している。
- ウ × 検査証には有効期間がある。
- エ ○ 正しい。旅客運送事業用自動車の有効期間は原則1年である。

総合解説：新規時・継続時とも事業用旅客車は原則1年を基本に判断する。

RY02-Q057 自動車の検査 > 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納） 難易度:1

2025年4月1日以降、継続検査を受けても残存する有効期間を失わない受検可能期間について正しいものはどれか。

- ア. 有効期間満了日の2か月前から満了日まで。
- イ. 有効期間満了日の6か月前から
- ウ. 有効期間満了日の1年前から
- エ. 満了日の前日だけ

正答：ア

- ア ○ 2025年4月1日施行の省令改正により、残存期間を失わずに受検できる期間は満了日の2か月前からに拡大された。
- イ × 6か月前ではない。
- ウ × 1年前ではない。
- エ × 前日だけに限定されない。

総合解説：旧「1か月前」から「2か月前」へ拡大された改正点は重要である。

RY02-Q058 自動車の検査 > 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納） 難易度:2

電子車検証の形態について正しいものはどれか。

- ア. 電子車検証はスマートフォン画面だけで、物理カードは一切交付されない。
- イ. A6サイズ相当の厚紙にICタグを貼付した形態で、券面に表示されない情報はICタグにも記録される。
- ウ. 従来と同じA4紙だけでICタグはない。
- エ. 電子車検証には車台番号等の車両情報は一切記録されない。

正答：イ

- ア × 物理的な電子車検証が交付される。
- イ ○ 国土交通省は電子車検証をA6サイズ相当 + ICタグとして運用している。
- ウ × 従来A4紙とは仕様がかわっている。
- エ × 車両情報は券面・ICタグに記録される。

総合解説：「電子」といってもカード型の車検証自体を備え付ける。

RY02-Q059 自動車の検査 > 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納） 難易度:2

電子車検証の「有効期間」の確認について正しいものはどれか。

- ア. 有効期間は制度上廃止された。
- イ. 券面のどこにも記録されず国にも情報がない。
- ウ. 有効期間はICタグの記録事項として確認でき、車検証閲覧アプリ等を利用できる。
- エ. 運転者が任意の日付を設定する。

正答：ウ

- ア × 車検制度上の有効期間は存続している。
- イ × ICタグに記録されている。
- ウ ○ 電子車検証では有効期間等の一部情報が券面非表示となり、ICタグの情報を閲覧アプリ等で確認する。
- エ × 有効期間は行政手続で決まる。

総合解説：電子化後は「券面がない=情報が存在しない」ではない。

RY02-Q060 自動車の検査 > 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納） 難易度:3

「自動車検査証記録事項」の備付け義務について、国土交通省の説明として正しいものはどれか。

- ア. 電子車検証よりも強い法定備付け義務がある。
- イ. 自動車検査証記録事項だけを積んでいれば電子車検証は不要である。
- ウ. 必ず運転者が手書きで作成しなければならない。
- エ. 補助的な書面であり、電子車検証そのもののような車両運行時の備付け義務はない。

正答：エ

- ア × 備付け義務の対象は自動車検査証である。
- イ × 補助書面だけで電子車検証の代替にはならない。
- ウ × 行政から補助的に交付されるもので手書き作成するものではない。
- エ ○ 国土交通省は、自動車検査証記録事項には車検証のような備付け義務はないと明示している。

総合解説：電子車検証と記録事項帳票を明確に区別する。

RY02-Q061 自動車の検査 > 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納） 難易度:1

自動車検査証の備付け等について正しいものはどれか。

- ア. 自動車は、自動車検査証を備え付け、かつ検査標章を所定の方法で表示しなければ運行の用に供してはならない。
- イ. 車検証は営業所に保管すれば車両に備え付けなくてよい。
- ウ. 検査標章は一切表示しなくてよい。
- エ. 有効な免許証があれば車検証は不要である。

正答：ア

- ア ○ 法第66条は、自動車検査証の備付けと検査標章の表示を運行要件としている。
- イ × 営業所保管だけでは法の備付け要件を満たさない。
- ウ × 検査標章の表示も必要である。
- エ × 運転免許と車検証は別の要件である。

総合解説：運行管理上も車両ごとの車検証有効性と備付けを確認する必要がある。

RY02-Q062 自動車の検査 > 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納） 難易度:2

自動車検査証記録事項に変更があった場合の原則的な期限として正しいものはどれか。

- ア. 3か月以内
- イ. その事由があった日から15日以内に変更記録の申請をする。
- ウ. 1年以内
- エ. 次回車検時まで何もしなくてよい

正答：イ

- ア × 3か月ではない。
- イ ○ 法第67条第1項は、自動車検査証記録事項の変更について15日以内の変更記録申請を求める。
- ウ × 1年ではない。
- エ × 次回車検まで放置することはできない。

総合解説：登録変更と同様に15日が重要な期限となる場面がある。

RY02-Q063 自動車の検査 > 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納） 難易度:1

登録自動車の所有者住所の変更が、変更登録と自動車検査証の変更記録の双方に関係する場合の取扱いとして正しいものはどれか。

- ア. どちらか一方だけ行えば他方は永久に不要である。
- イ. 車検証変更記録だけを5年後に行う。
- ウ. 法令上、必要となる変更登録と自動車検査証の変更記録の申請を同時に行う。
- エ. 変更登録と車検証変更記録は同時申請してはならない。

正答：ウ

- ア × 片方だけで足りるとは限らない。
- イ × 法定期限に従う必要がある。
- ウ ○ 法第12条第2項等は、同一の変更事由で両申請が必要な場合に同時申請を求める。
- エ × 同時申請が原則である。

総合解説：登録情報と車検証記録事項の整合を保つため手続が連動する。

RY02-Q064 自動車の検査 > 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納） 難易度:2

自動車検査証を紛失、盗難又はき損した場合の対応として適切なものはどれか。

- ア. コピーを自作して原本として扱う。
- イ. 会社の車両台帳だけで永久に代用する。
- ウ. 紛失したまま法定手続をせず運行を続ける。
- エ. 所定の手続により自動車検査証の再交付を受ける。

正答：エ

- ア × 自作コピーを正式な車検証にすることはできない。
- イ × 社内台帳は車検証の代替ではない。
- ウ × 車検証の備付け義務があるため再交付手続が必要である。
- エ ○ 国土交通省の登録ポータルでは、紛失・盗難・き損時の自動車検査証再交付手続を案内している。

総合解説：紛失時は再交付手続を速やかに行う。

RY02-Q065 自動車の検査 > 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納） 難易度:3

自動車の使用を一時中止して一時抹消登録を行う場合の自動車検査証の取扱いとして適切なものはどれか。

- ア. 所定の手続で自動車検査証を返納する。
- イ. 有効期間が残っていれば必ず手元に保持し続ける。
- ウ. 車検証を他車に移して利用する。
- エ. 返納せず自作の証明書に差し替える。

正答：ア

- ア ○ 抹消登録手続では自動車検査証の返納が必要となる。紛失等で返納できない場合は理由書等の手続がある。
- イ × 一時抹消では返納手続が伴う。
- ウ × 車検証は車両固有で他車に流用できない。
- エ × 自作書面で返納義務に代えることはできない。

総合解説：「有効期間が残る = 抹消時も返納不要」ではない。

RY02-Q066 自動車の検査 > 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納） 難易度:2

自動車検査証を盗難により返納できない状態で抹消登録を行う場合の対応として最も適切なものはどれか。

- ア. 盗難なら抹消登録自体が永久にできない。
- イ. 返納できない理由を記載した所定の理由書等を添えて手続を行う。
- ウ. 他車の車検証を代わりに返納する。
- エ. 何の説明もなく返納を省略する。

正答：イ

- ア × 盗難でも代替手続が用意されている。
- イ ○ 国土交通省の手続案内では、盗難・遺失等で車検証を返納できない場合に理由書を求める。
- ウ × 他車の車検証を流用してはならない。
- エ × 返納不能の事情を明らかにする必要がある。

総合解説：紛失・盗難時は「手続免除」ではなく「理由書等による代替手続」である。

RY02-Q067 自動車の検査 > 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納） 難易度:1

車検証の有効期間が満了したバスを公道で運輸支局まで移動させる必要がある。最も適切な考え方はどれか。

- ア. 運輸支局へ向かう目的なら無条件で自走できる。
- イ. 会社の許可があれば車検切れでも自由に走れる。
- ウ. 有効な車検証なしに通常運行はできないため、必要に応じ臨時運行許可等の適法な手段を用いる。
- エ. 旅客を乗せなければ車検切れでも通常運行できる。

正答：ウ

- ア × 目的だけで無条件に運行できるわけではない。
- イ × 社内許可は車検証の代替ではない。
- ウ ○ 正しい。移動目的が検査であっても、公道を運行するための法的要件を満たす必要がある。
- エ × 空車でも車検切れの通常運行はできない。

総合解説：車検切れ車の移動は目的と手段の双方を適法にする。

RY02-Q068 自動車の検査 > 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納） 難易度:2

電子車検証の券面に表示されない事項の例として正しいものはどれか。

- ア. 自動車登録番号は一切記録されない。
- イ. 車台番号は国にも記録されない。
- ウ. 車名や型式はどこにも記録されない。
- エ. 自動車検査証の有効期間や所有者の住所など、ICタグに格納される事項。

正答：エ

- ア × 登録番号は券面記載事項である。
- イ × 車台番号も券面記載事項である。
- ウ × 車名・型式も券面記載事項である。
- エ ○ 国土交通省は、有効期間・所有者住所・使用者住所・使用の本拠等を券面非表示事項としてICタグに格納すると案内している。

総合解説：電子車検証では「券面記載」と「ICタグ記録」を分けて理解する。

RY02-Q069 自動車の検査 > 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納） 難易度:2

電子車検証の交付後、券面記載事項に変更のない継続検査等で情報を更新する仕組みとして正しいものはどれか。

- ア. 記録等事務代行者が、国の審査後に電子車検証のICタグ情報更新等を行える仕組みがある。
- イ. 運転者が個人のスマートフォンで自由に有効期間を書き換える。
- ウ. 運送の依頼者がICタグを書き換える。
- エ. 自動車メーカーだけが行政手続なしで変更する。

正答：ア

- ア ○ 電子車検証制度では、委託を受けた記録等事務代行者による記録更新等の仕組みが導入されている。
- イ × 利用者が勝手に書換える制度ではない。
- ウ × 運送の依頼者に行政記録の書換権限はない。
- エ × 行政審査なしの自由更新ではない。

総合解説：電子化は利便性を高めるが、記録更新は正式な行政手続の一部である。

RY02-Q070 自動車の検査 > 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納） 難易度:3

自動車検査証の有効期間と検査標章の関係として最も適切なものはどれか。

- ア. 車検証が有効なら検査標章は不要である。
- イ. 有効な車検証を備え付けるとともに、検査標章を所定の位置・方法で表示して運行する。
- ウ. 検査標章だけあれば車検証は不要である。
- エ. どちらも運行時には不要で営業所保管だけでよい。

正答：イ

- ア × 車検証だけで表示義務を免れない。
- イ ○ 法第66条は車検証の備付けと検査標章の表示を併せて求める。
- ウ × 検査標章だけで備付け義務を免れない。
- エ × 車両での備付け・表示が必要である。

総合解説：車検証と検査標章は役割が違うが、いずれも適法運行に関係する。

RY02-Q071 自動車の検査 > 自動車検査証（有効期間・記載変更・返納） 難易度:1

2026年時点の継続検査時期に関する運行管理上の対応として適切なものはどれか。

- ア. 制度上、満了日の当日にしか継続検査を受けられない。
- イ. 満了後1年間は無検査で運行できる。
- ウ. 満了日の2か月前から残存期間を失わず受検できるため、満了直前に集中させず余裕を持って受検計画を立てる。
- エ. 2か月前に受けると必ず旧満了日までの期間を失う。

正答：ウ

- ア × 当日限定ではない。
- イ × 満了後の無検査運行は認められない。
- ウ ○ 2025年4月から受検可能期間が2か月前へ拡大され、早めの車検計画が可能になった。
- エ × 2か月前から満了日までなら残存期間を失わない取扱いである。

総合解説：法改正を車両管理計画に反映することが重要である。

RY02-Q072 自動車の検査 > 保安基準適合証・適合標章 難易度:2

指定自動車整備事業者が保安基準適合証を交付できる基本的な場合として正しいものはどれか。

- ア. 保安基準に不適合でも顧客が希望すれば交付できる。
- イ. 点検・検査をせず料金を支払えば交付できる。
- ウ. 運転者が口頭で安全だと申告すれば交付できる。
- エ. 点検・整備及び検査を行い、自動車検査員が当該自動車が保安基準に適合すると証明した場合。

正答：エ

- ア × 不適合車への交付は認められない。
- イ × 必要な検査を省略して交付する制度ではない。
- ウ × 運転者の自己申告だけでは足りない。
- エ ○ 指定整備制度では、必要な点検・整備・検査を経て自動車検査員が適合を証明したときに適合証等を交付する。

総合解説：適合証は「指定工場が適法に検査した結果」の証明である。

RY02-Q073 自動車の検査 > 保安基準適合証・適合標章 難易度:1

有効な保安基準適合証を継続検査で利用する効果として正しいものはどれか。

- ア. 一定の要件のもとで国への現車提示を省略できる。
- イ. 車検証の有効期間が無期限になる。
- ウ. 自動車税が永久に免除される。
- エ. 運転免許が不要になる。

正答：ア

- ア ○ 指定整備工場が交付する適合証を提出することで、一定の場合に現車提示を省略できる。
- イ × 有効期間を無期限にするものではない。
- ウ × 税制度の恒久免除ではない。
- エ × 運転者の免許制度とは無関係である。

総合解説：適合証の効果は検査手続の現車提示省略にある。

RY02-Q074 自動車の検査 > 保安基準適合証・適合標章 難易度:2

保安基準適合証及び保安基準適合標章の有効期間として、指定自動車整備事業規則上正しいものはどれか。

- ア. 検査をした日から1年間
- イ. 検査をした日から15日間
- ウ. 交付日から5年間
- エ. 有効期間の定めはない

正答：イ

- ア × 1年間ではない。
- イ ○ 指定自動車整備事業規則は、保安基準適合証及び適合標章の有効期間を検査日から15日間とする。
- ウ × 5年間ではない。
- エ × 明確な有効期間が定められている。

総合解説：車検証の有効期間と適合証・適合標章の15日を混同しない。

RY02-Q075 自動車の検査 > 保安基準適合証・適合標章 難易度:2

保安基準適合標章を交付された自動車をその有効期間内に運行する場合の表示について正しいものはどれか。

- ア. 営業所の壁に貼れば車両への表示は不要である。
- イ. 車内の収納庫に隠して保管する。
- ウ. 法令で定める方法により、自動車の前面に見やすいよう表示する。
- エ. 運転者の財布に入れておけば表示義務を満たす。

正答：ウ

- ア × 営業所掲示では車両表示の代わりにならない。
- イ × 見えない状態では表示義務を満たさない。
- ウ ○ 正しい。保安基準適合標章は運行中、前面に見やすいよう表示する。
- エ × 携帯だけでは足りない。

総合解説：適合標章は『携帯』ではなく『車両への表示』である。

RY02-Q076 自動車の検査 > 保安基準適合証・適合標章 難易度:3

指定整備工場が、保安基準に適合していないことを認識しながら保安基準適合証を交付する行為について正しいものはどれか。

- ア. 顧客が同意すれば適法である。
- イ. 後日整備する予定なら無条件で適法である。
- ウ. 運行管理者が承認すれば適法である。
- エ. 法令違反となり、指定取消し等の行政処分の対象となり得る。

正答：エ

- ア × 顧客の同意で法定基準違反は正当化されない。
- イ × 将来整備予定でも現時点の不適合を適合と証明できない。
- ウ × 運行管理者に不正交付を許可する権限はない。
- エ ○ 保安基準不適合車への適合証交付は制度の根幹に反し、実際に行政処分の対象となっている。

総合解説：適合証の信頼性を確保するため、不正交付には厳格な処分がある。

RY02-Q077 点検及び整備 > 使用者の点検整備義務 難易度:1

道路運送車両法上、自動車の使用者に課される点検・整備の基本義務として正しいものはどれか。

- ア. 自動車を保安基準に適合するよう維持するため、必要な点検及び整備を行うこと。
- イ. 車検の有効期間中は点検整備を一切行わなくてよい。
- ウ. 点検整備は運転者個人だけの義務で、使用者には責任がない。
- エ. 故障して走行不能となった後にだけ整備すればよい。

正答：ア

- ア ○ 法第47条は、使用者に自動車を保安基準に適合するよう点検・整備して維持する責任を課している。
- イ × 車検合格は次の車検まで無整備でよいことを意味しない。
- ウ × 使用者にも法定の維持責任がある。
- エ × 故障後だけでなく、予防的な点検整備が必要である。

総合解説：車検と日常・定期点検は役割が異なり、使用者の維持管理義務は継続する。

RY02-Q078 点検及び整備 > 使用者の点検整備義務 難易度:2

事業者が定期点検を認証整備工場へ委託した場合の使用者責任について正しいものはどれか。

- ア. 委託した時点で使用者の法的責任はすべて消滅する。
- イ. 整備工場へ作業を委託しても、使用者として適切な点検・整備を行わせる責任は残る。
- ウ. 委託先が決まっていれば点検時期を管理する必要はない。
- エ. 委託した車両は保安基準に適合しなくても運行できる。

正答：イ

- ア × 委託は責任移転そのものではない。
- イ ○ 作業を外部委託しても、自動車を適切に維持管理する主体は使用者である。
- ウ × 使用者側で点検期限や実施状況を管理する必要がある。
- エ × 保安基準不適合車を運行してよいことにはならない。

総合解説：外部委託と法定責任の所在を区別することが重要である。

RY02-Q079 点検及び整備 > 使用者の点検整備義務 難易度:2

自動車の点検時期や必要な整備を判断する際の考え方として最も適切なものはどれか。

- ア. 法定点検だけ実施すれば、異音や異常があっても次回点検まで放置する。
- イ. 走行距離が多いほど点検回数を減らしてよい。
- ウ. 法定点検に加え、走行距離や運行時の状態など使用状況も踏まえて必要な点検・整備を行う。
- エ. 使用状況にかかわらず、すべての車両を同じ整備内容に固定する。

正答：ウ

- ア × 異常を認めた場合は随時対応が必要である。
- イ × 過酷な使用はむしろ追加的な点検が必要になり得る。
- ウ ○ 法は日常点検で走行距離や運行状態を考慮させ、必要に応じた整備を求める。
- エ × 車種・用途・使用状況により必要な管理は異なる。

総合解説：法定周期は最低限の枠組みであり、異常やシビアコンディションを無視してよいものではない。

RY02-Q080 点検及び整備 > 使用者の点検整備義務 難易度:3

日常点検で制動装置に明らかな異常が見つかった場合、使用者の対応として適切なものはどれか。

- ア. 点検を実施した事実だけ記録し、そのまま運行する。
- イ. 乗客が少なければ制動装置の異常を無視してよい。
- ウ. 高速道路を使わなければ整備せず運行できる。
- エ. 必要な整備を行い、保安基準に適合することを確認してから運行させる。

正答：エ

- ア × 点検だけで不具合は解消しない。
- イ × 乗客数は制動装置の不良を許容する理由にならない。
- ウ × 一般道でも制動性能は必要である。
- エ ○ 正しい。異常を発見した場合は必要な整備を実施し、安全な状態で運行する。

総合解説：点検→異常発見→整備→運行可否判断の流れを守る。

RY02-Q081 点検及び整備 > 使用者の点検整備義務 難易度:1

自動車検査（車検）と点検整備の関係について正しいものはどれか。

- ア. 車検は検査時点での保安基準適合性を確認する制度であり、日常・定期の点検整備義務とは別に継続して行う必要がある。
- イ. 車検に合格すれば次回車検まで日常点検は免除される。
- ウ. 定期点検を行えば車検を受ける必要はない。
- エ. 車検と点検整備は同一制度であり区別はない。

正答：ア

- ア ○ 車検と点検整備は目的・時期が異なる制度で、いずれも適切に実施する必要がある。
- イ × 事業用車の日常点検義務は残る。
- ウ × 法定検査義務を定期点検で代替することはできない。
- エ × 両者は別制度である。

総合解説：運行管理では「車検があるから整備不要」という誤解を排除する。

RY02-Q082 点検及び整備 > 日常点検整備 難易度:2

事業用のバス・タクシーの日常点検の実施時期として正しいものはどれか。

- ア. 月に一回、運行終了後だけ実施する。
- イ. 一日一回、その運行の開始前に実施する。
- ウ. 3か月ごとの定期点検時だけ実施する。
- エ. 車検の前日だけ実施する。

正答：イ

- ア × 頻度が不足する。
- イ ○ 正しい。事業用自動車等の日常点検は一日一回、運行開始前に行う。
- ウ × 定期点検とは別に必要である。
- エ × 車検前だけではない。

総合解説：運行管理者は業務前点呼で日常点検の実施又は確認も行う。

RY02-Q083 点検及び整備 > 日常点検整備 難易度:2

事業用バスの日常点検におけるブレーキの確認として適切なものはどれか。

- ア. 前照灯の色だけ確認する。
- イ. タイヤの製造国だけ確認する。
- ウ. ブレーキ・ペダルの踏みしろや効き、ブレーキ液量などを確認する。
- エ. 当日の乗客数だけ確認する。

正答：ウ

- ア × 制動装置の点検にならない。
- イ × 製造国だけでは車両状態を確認できない。
- ウ ○ 正しい。制動装置は日常点検の重要項目である。
- エ × 乗客数はブレーキ状態の確認ではない。

総合解説：ブレーキの作動状態や液量等を具体的に確認する。

RY02-Q084 点検及び整備 > 日常点検整備 難易度:1

日常点検でタイヤについて確認すべき事項として適切なものはどれか。

- ア. タイヤの販売価格だけを確認する。
- イ. タイヤのブランドが4本とも同一かだけを確認する。
- ウ. ホイールの色が車体色と一致するか確認する。
- エ. 空気圧、亀裂・損傷、異常摩耗などを確認する。

正答：エ

- ア × 安全状態の点検になっていない。
- イ × ブランド一致だけでは安全性を確認できない。
- ウ × 外観色は法定の日常点検事項ではない。
- エ ○ 空気圧、亀裂・損傷、異常摩耗等は日常点検の重要事項である。

総合解説：大型車ではタイヤ・ホイール管理の不備が車輪脱落等の重大事故につながり得る。

RY02-Q085 点検及び整備 > 日常点検整備 難易度:2

乗車定員30人以上の事業用バスの日常点検で、車輪関係について特に確認する事項として適切なものはどれか。

- ア. ディスク・ホイールの取付状態が不良でないこと。
- イ. ホイールの装飾デザインが統一されていること。
- ウ. タイヤ側面に会社名が印刷されていること。
- エ. スペアタイヤが新品であることだけ。

正答：ア

- ア ○ 正しい。大型車では車輪脱落防止の観点からディスク・ホイールの取付状態確認が重要である。
- イ × 外観デザインは安全点検の基準ではない。
- ウ × 会社名表示は取付状態の点検ではない。
- エ × 新品かだけでは安全性を判断できない。

総合解説：大型バスではホイール・ボルト等の異常を早期に発見する。

RY02-Q086 点検及び整備 > 日常点検整備 難易度:3

灯火装置及び方向指示器の日常点検として正しいものはどれか。

- ア. ランプの色を運転者の好みに変更する。
- イ. 点灯又は点滅具合が不良でないことに加え、汚れや損傷がないことを確認する。
- ウ. 点灯確認は不要で、レンズを拭くだけでよい。
- エ. 方向指示器は夜間だけ確認すればよい。

正答：イ

- ア × 保安基準に反する改変はできない。
- イ ○ 点灯・点滅の作動と、汚れ・損傷の有無を確認する。
- ウ × 作動確認が必要である。
- エ × 運行開始前の日常点検で確認する。

総合解説：「作動」と「外観」の両方を確認するのがポイントである。

RY02-Q087 点検及び整備 > 日常点検整備 難易度:1

日常点検における原動機関係の確認として適切なものはどれか。

- ア. 冷却水は車検時だけ確認すればよい。
- イ. エンジンオイル量は減っていても補充・整備の必要はない。
- ウ. 走行距離や運行状態等から判断した適切な時期に、冷却水量やエンジンオイル量等を確認する。
- エ. 異音があっても出力が出れば点検不要である。

正答：ウ

- ア × 適切な時期の日常点検対象である。
- イ × 油量異常は故障につながるため放置できない。
- ウ ○ 冷却水量、ファンベルト、エンジンオイル量、かかり具合・異音等は点検基準に含まれる。
- エ × 異音は異常の重要な兆候である。

総合解説：*印項目は走行距離・運行状態等から判断した適切な時期に行うことで足りるが、無視してよいわけではない。

RY02-Q088 点検及び整備 > 日常点検整備 難易度:2

エア・ブレーキを備えた大型バスの日常点検に関する記述として適切なものはどれか。

- ア. エア圧は警報が鳴るまで確認しなくてよい。
- イ. エア・タンクの凝水は多いほど制動性能が向上する。
- ウ. エア系統は定期点検だけでよく日常点検には関係しない。
- エ. 空気圧力の上がり具合やエア・タンクの凝水など、空気系統の状態を確認する。

正答：エ

- ア × 運行前から状態を確認する。
- イ × 凝水は不具合要因となり得る。
- ウ × 日常点検の対象となる。
- エ ○ 正しい。エア・ブレーキ車は空気系統の異常が制動性能へ直結する。

総合解説：大型バスの制動装置は空気系統まで含めて確認する。

RY02-Q089 点検及び整備 > 日常点検整備 難易度:2

前日の運行中にハンドル付近から異音を感じた事業用バスについて、翌日の運行開始前点検で適切な対応はどれか。

- ア. 異常を認めた箇所として確認し、必要に応じて整備したうえで運行可否を判断する。
- イ. 前日に走行できたので点検対象から除外する。
- ウ. 異音の有無は日常点検と無関係なので記録もしない。
- エ. 予約客が待っていれば点検を省略する。

正答：ア

- ア ○ 正しい。前運行で異状を認めた箇所は日常点検で重点的に確認する。
- イ × 前日の運行可否と翌日の安全状態は別に確認する。
- ウ × 異状箇所は点検対象となる。
- エ × 営業都合で点検を省略できない。

総合解説：前運行時の違和感・故障兆候を次の運行前へ確実に引き継ぐ。

RY02-Q090 点検及び整備 > 日常点検整備 難易度:3

日常点検の結果、タイヤに深い亀裂が確認された場合の対応として最も適切なものはどれか。

- ア. 空気圧が正常なら亀裂を無視してよい。
- イ. そのまま運行せず、必要な整備・交換を行って安全性を確認する。
- ウ. 一般道だけなら亀裂のあるタイヤで運行してよい。
- エ. 点検表にチェックを付ければ整備せず運行できる。

正答：イ

- ア × 亀裂・損傷自体が重要な異常である。
- イ ○ 点検で異常を発見した場合は必要な整備を行うことが点検制度の本旨である。
- ウ × 道路種別で安全基準が消えるわけではない。
- エ × 記録は整備の代替ではない。

総合解説：日常点検は「実施したか」ではなく「安全に運行できる状態か」を確認する手続である。

RY02-Q091 点検及び整備 > 日常点検整備 難易度:1

営業所で日常点検表を用いる目的として最も適切なものはどれか。

- ア. 点検そのものを行わず、署名だけで済ませるため。
- イ. 定期点検を永久に不要にするため。
- ウ. 点検漏れを防ぎ、実施状況や異常の情報を整備管理者と運転者の間で共有しやすくする。
- エ. 車検証の代わりとして使用するため。

正答：ウ

- ア × 形式だけの記録では目的を達成しない。
- イ × 定期点検は別途必要である。
- ウ ○ 国土交通省は日常点検を円滑・確実にを行うためチェックリスト等の活用を推奨している。
- エ × 法定検査証明書の代替ではない。

総合解説：点検表は点検の実効性を高める管理手段であり、実車確認を省略する道具ではない。

RY02-Q092 点検及び整備 > 定期点検整備（3か月・12か月） 難易度:2

事業用のバス・タクシーの定期点検周期として正しいものはどれか。

- ア. 6か月ごとの点検だけでよい。
- イ. 2年ごとの点検だけでよい。
- ウ. 車検時だけ点検すればよい。
- エ. 3か月ごとの点検と12か月ごとの点検がある。

正答：エ

- ア × 6か月だけではない。
- イ × 2年だけではない。
- ウ × 車検と定期点検は別に管理する。
- エ ○ 正しい。事業用のバス・タクシーは3か月・12か月の定期点検対象である。

総合解説：旅客事業用車両では3か月・12か月点検を確実に管理する。

RY02-Q093 点検及び整備 > 定期点検整備（3か月・12か月） 難易度:2

事業用バスの12か月定期点検について正しいものはどれか。

- ア. 12か月ごとに、3か月点検より広い項目を含む定期点検を実施する。
- イ. 12か月点検は3か月点検対象車には適用されない。
- ウ. 12か月点検は任意である。
- エ. 12か月点検をすると日常点検が不要になる。

正答：ア

- ア ○ 正しい。12か月点検では3か月点検に追加された項目も確認する。
- イ × 同じ事業用車両に3か月・12か月の両周期がある。
- ウ × 法定点検である。
- エ × 日常点検は別に必要である。

総合解説：日常・3か月・12か月を重層的に実施する。

RY02-Q094 点検及び整備 > 定期点検整備（3か月・12か月） 難易度:1

旅客営業所の点検計画について適切なものはどれか。

- ア. 営業所全体で年1回だけ点検日を決めれば各車両の周期は無視してよい。
- イ. 車両ごとに3か月・12か月点検の予定を設定し、実施実績を管理する。
- ウ. 車検月だけ確認し3か月点検予定は管理しない。
- エ. 点検期日を運転者の記憶だけに任せる。

正答：イ

- ア × 各車両の法定周期を管理する必要がある。
- イ ○ 正しい。車両単位の予定管理が点検漏れ防止につながる。
- ウ × 車検と3か月点検は別に管理する。
- エ × 個人の記憶だけでは漏れが生じやすい。

総合解説：運行計画と整備計画を調整し、点検期日を確実に守る。

RY02-Q095 点検及び整備 > 定期点検整備（3か月・12か月） 難易度:2

国土交通省の現行案内で、事業用のバス・タクシー等の3か月定期点検の標準的な点検項目数として示されているものはどれか。

- ア. 12項目
- イ. 29項目
- ウ. 51項目
- エ. 101項目

正答：ウ

- ア × 少なすぎる。
- イ × 自家用乗用車の1年点検項目数等と混同している。
- ウ ○ 正しい。国土交通省の案内では事業用バス・自動車・タクシーの3か月点検は51項目と示される。
- エ × 101項目は12か月点検で示される数である。

総合解説：3か月51項目・12か月101項目を区別する。

RY02-Q096 点検及び整備 > 定期点検整備（3か月・12か月） 難易度:3

事業用バスの点検計画を作成している。国土交通省の現行案内で101項目を確認する点検として適切なものはどれか。

- ア. 3か月ごとの定期点検
- イ. 運行開始前の日常点検
- ウ. 車検だけ
- エ. 12か月ごとの定期点検

正答：エ

- ア × 3か月点検は51項目である。
- イ × 日常点検とは別である。
- ウ × 車検だけを指す数ではない。
- エ ○ 正しい。事業用バス等の12か月点検は101項目と案内されている。

総合解説：点検項目数は対象車両と周期を結び付けて覚える。

RY02-Q097 点検及び整備 > 定期点検整備（3か月・12か月） 難易度:1

事業用バス等の3か月定期点検で、一部の点検項目を省略できる場合がある条件として適切なものはどれか。

- ア. 自動車検査証の交付日又は前回点検日以後の走行距離が3か月当たり2,000km以下など、点検基準の注記条件を満たす場合。
- イ. 走行距離にかかわらず事業者の判断だけで全項目を省略できる。
- ウ. 新車であれば最初の3年間は全ての定期点検を省略できる。
- エ. 運転者が異常なしと言えば法定点検そのものが不要になる。

正答：ア

- ア ○ 正しい。自動車点検基準には低走行距離等を条件として一部項目を省略できる注記がある。
- イ × 省略には法定条件がある。
- ウ × 新車を理由に3年間全面免除する制度ではない。
- エ × 運転者の申告だけで法定点検を外せない。

総合解説：『定期点検そのものの免除』ではなく、一部項目の条件付き省略である。

RY02-Q098 点検及び整備 > 定期点検整備（3か月・12か月） 難易度:2

車検の直後に事業用バスを使用する場合、次の3か月定期点検について正しいものはどれか。

- ア. 車検後は次回車検まですべての定期点検が免除される。
- イ. 車検を受けたことだけを理由に、その後の法定周期による定期点検を省略し続けることはできない。
- ウ. 車検後は日常点検も不要である。
- エ. 車検と定期点検は完全に同一の手続である。

正答：イ

- ア × 法定周期で定期点検が必要である。
- イ ○ 正しい。検査と点検整備は目的・周期が異なる。
- ウ × 日常点検も継続して必要である。
- エ × 別制度である。

総合解説：車検有効期間と点検周期を混同しない。

RY02-Q099 点検及び整備 > 定期点検整備（3か月・12か月） 難易度:2

通常より走行距離が多いなど、使用条件が厳しい事業用バスの点検について適切な考え方はどれか。

- ア. 法定点検の項目を半分に減らしてよい。
- イ. 走行距離が多い車両ほど点検周期を延長する。
- ウ. 法定点検に加え、メーカー情報等を参考に必要な追加点検を行うことがある。
- エ. 過酷使用でも法定点検以外の検討は不要である。

正答：ウ

- ア × 法定項目を任意に削減できない。
- イ × 過酷使用ほど慎重な管理が必要である。
- ウ ○ 正しい。法定点検は最低限の枠組みで、使用条件に応じた予防整備が必要となることがある。
- エ × 追加点検が有用な場合がある。

総合解説：運行実態に応じて予防保全を強化する。

RY02-Q100 点検及び整備 > 定期点検整備（3か月・12か月） 難易度:3

定期点検項目のうち走行距離によって省略できるとされる項目について、国土交通省の手引に沿う考え方はどれか。

- ア. 走行距離が少なければ永久に省略できる。
- イ. 一度省略した項目は以後点検禁止となる。
- ウ. 事業用車は走行距離に関係なく全項目を必ず毎回分解しなければならない。
- エ. 所定の走行距離に満たない場合に省略できる項目があるが、同じ項目を2回連続して省略することはできない。

正答：エ

- ア × 継続的な状態確認が必要である。
- イ × 点検禁止になる規定ではない。
- ウ × 全項目に一律の分解を求めるものではない。
- エ ○ 手引では距離条件による省略を認める一方、2回連続省略を不可としている。

総合解説：省略規定は「点検不要」ではなく、使用実態に応じた合理化である。

RY02-Q101 点検及び整備 > 定期点検整備（3か月・12か月） 難易度:1

定期点検の結果、制動装置の分解を伴う整備が必要となった場合について適切なものはどれか。

- ア. 特定整備に該当する作業は、必要な認証を受けた事業場で実施する。
- イ. どの営業所でも認証なしで営業として実施できる。
- ウ. 運転者が工具を持っていれば事業として自由に分解整備できる。
- エ. 定期点検の結果生じた作業は特定整備の規制対象外である。

正答：ア

- ア ○ 制動装置の分解整備などは特定整備に該当し、認証制度の対象となる。
- イ × 認証が必要な事業行為がある。
- ウ × 技能だけで認証要件を代替できない。
- エ × 点検に伴う場合でも対象となり得る。

総合解説：点検と、点検結果に基づく特定整備の実施資格を区別する。

RY02-Q102 点検及び整備 > 定期点検整備（3か月・12か月） 難易度:2

3か月点検を実施した直後の事業用バスについて12か月点検期日が到来した。対応として正しいものはどれか。

- ア. 3か月点検済みなので12か月点検は翌年まで延期できる。
- イ. 12か月点検として必要な範囲を実施する。直前に3か月点検をしたことだけで12か月点検を免除できない。
- ウ. 12か月点検は車検を受ける車両には適用されない。
- エ. 営業所長が許可すれば省略できる。

正答：イ

- ア × 法定期日は守る必要がある。
- イ ○ 正しい。12か月点検には3か月点検に加える項目があり、期日に応じて必要な点検を行う。
- ウ × 車検対象車にも定期点検は適用される。
- エ × 社内許可で法定点検を省略できない。

総合解説：3か月点検と12か月点検が重なる時期を計画的に管理する。

RY02-Q103 点検及び整備 > 定期点検整備（3か月・12か月） 難易度:2

定期点検を確実に実施するための整備管理者の管理方法として適切なものはどれか。

- ア. 故障した車両だけをその都度管理する。
- イ. 車両番号を使わず運転者の名前だけで点検周期を管理する。
- ウ. 車検時期等も踏まえ、各車両の3か月・12か月点検予定と実績を一覧で管理する。
- エ. 定期点検記録は作成せず口頭報告だけにする。

正答：ウ

- ア × 予防保全にならない。
- イ × 車両単位の周期管理が必要である。
- ウ ○ 車両別の計画・実績管理により点検漏れや周期誤りを防ぐことができる。
- エ × 記録義務もあるため口頭だけでは不十分である。

総合解説：整備管理は「予定」「実施」「記録」を一体化して行う。

RY02-Q104 点検及び整備 > 点検整備記録簿 難易度:1

事業用バス・タクシーの点検整備記録簿の備付けについて正しいものはどれか。

- ア. 営業所に1冊だけあれば各車両への備付けは不要である。
- イ. 整備工場が保管すれば使用者は記録を持たなくてよい。
- ウ. 車検時だけ作成し、その後すぐ廃棄する。
- エ. 原則として当該自動車に備え置く。

正答：エ

- ア × 各車両の記録を適切に備える必要がある。
- イ × 使用者側の記録管理義務がある。
- ウ × 法定保存期間がある。
- エ ○ 正しい。車両ごとの点検・整備履歴として管理する。

総合解説：記録簿は車両ごとの整備履歴として継続活用する。

RY02-Q105 点検及び整備 > 点検整備記録簿 難易度:2

点検整備記録簿に記載すべき事項として適切なものはどれか。

- ア. 点検年月日、点検結果、整備概要、整備完了年月日、総走行距離、実施者など。
- イ. 運転者の趣味と家族構成だけ。
- ウ. 運送の依頼者の売上高と利益率だけ。
- エ. 車両購入時の値引額だけ。

正答：ア

- ア ○ 法令・手引では点検結果、整備概要、完了日、走行距離、実施者等を記録する。
- イ × 車両整備記録とは無関係である。
- ウ × 運送の依頼者経営情報は記載事項ではない。
- エ × 購入価格情報を中心とする制度ではない。

総合解説：後から整備履歴を追跡できる内容を残す。

RY02-Q106 点検及び整備 > 点検整備記録簿 難易度:3

事業用バス・タクシーの点検整備記録簿の法定保存期間として適切なものはどれか。

- ア. 1週間
- イ. 1年間
- ウ. 6か月
- エ. 10年間

正答：イ

- ア × 短すぎる。
- イ ○ 正しい。事業用自動車等の点検整備記録簿は1年間保存する。
- ウ × 6か月ではない。
- エ × 一律10年ではない。

総合解説：法定最低期間を守り、実務では整備履歴として継続的に活用する。

RY02-Q107 点検及び整備 > 点検整備記録簿 難易度:1

2025年7月8日以降の点検整備記録簿の取扱いについて正しいものはどれか。

- ア. すべての事業者に紙の記録簿の廃止が義務付けられた。
- イ. 電磁的記録は禁止され、必ず紙だけで保存する。
- ウ. 要件を満たせば、紙に代えて電磁的記録で備付け・作成することも可能である。
- エ. 電子化すると保存期間がゼロになる。

正答：ウ

- ア × 電子化は選択可能であり強制ではない。
- イ × 現行制度と逆である。
- ウ ○ 2025年7月8日の制度改正で、書面に代えて電磁的記録で行うことが可能となった。
- エ × 媒体が変わっても保存義務は残る。

総合解説：「電子化可能」と「電子化義務」を混同しない。

RY02-Q108 点検及び整備 > 点検整備記録簿 難易度:2

定期点検又は必要な整備を行った後の点検整備記録簿への記載時期として正しいものはどれか。

- ア. 次回車検まで記載しなくてよい。
- イ. 車両を売却した後にまとめて記載する。
- ウ. 事故が起きた場合だけ記載する。
- エ. 遅滞なく記載する。

正答：エ

- ア × 管理記録として遅すぎる。
- イ × 継続的な整備履歴にならない。
- ウ × 事故の有無に関係なく記録する。
- エ ○ 法第49条は、点検又は整備をしたときは遅滞なく所定事項を記載することを求める。

総合解説：点検整備記録簿はリアルタイムに近い状態で維持する。

RY02-Q109 点検及び整備 > 点検整備記録簿 難易度:2

点検整備記録簿を適切に保存する実務上の利点として最も適切なものはどれか。

- ア. 過去の点検結果や部品交換履歴を確認し、次の整備時期や異常傾向の判断に活用できる。
- イ. 車検証を不要にできる。
- ウ. 運転免許証の更新を免除できる。
- エ. 事故報告義務をなくすることができる。

正答：ア

- ア ○ 整備履歴の蓄積は消耗部品の交換時期や異常傾向の把握に役立つ。
- イ × 別制度の書類である。
- ウ × 運転免許制度とは無関係である。
- エ × 事故報告制度の免除にはならない。

総合解説：法定保存だけでなく「生涯記録簿」としての活用が推奨される。

RY02-Q110 点検及び整備 > 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令） 難易度:3

旅客事業の営業所における整備管理者の選任基準として正しいものはどれか。

- ア. バスもタクシーも100両以上になるまで選任不要である。
- イ. 事業用バス（乗車定員11人以上）は1両以上、事業用タクシー等（乗車定員10人以下）は5両以上を使用する営業所で選任が必要となる。
- ウ. バスは30両以上になって初めて選任する。
- エ. タクシーは1両あれば必ず整備管理者を2人選任する。

正答：イ

- ア × 選任基準はもっと少ない台数から適用される。
- イ ○ 正しい。事業用バスは1両以上、タクシー等は5両以上が基本となる。
- ウ × 事業用バスは1両以上から対象である。
- エ × タクシーで一律2人という基準ではない。

総合解説：運行管理者と整備管理者では選任基準が異なるため、別々に覚える。

RY02-Q111 点検及び整備 > 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令） 難易度:1

整備管理者を選任した場合の届出期限として正しいものはどれか。

- ア. 選任後1年以内でよい。
- イ. 届出は一切不要である。
- ウ. 選任した日から15日以内に地方運輸局長へ届け出る。
- エ. 車検証の満了日までに届け出ればよい。

正答：ウ

- ア × 期限が長すぎる。
- イ × 法定届出がある。
- ウ ○ 整備管理者を選任したときは15日以内の届出が必要である。
- エ × 車検時期とは連動しない。

総合解説：選任そのものと行政への届出をセットで覚える。

RY02-Q112 点検及び整備 > 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令） 難易度:2

自動車整備士資格を用いず実務経験等によって整備管理者となる場合の代表的な資格要件として正しいものはどれか。

- ア. 第二種運転免許を取得して1年以上経過していれば足りる。
- イ. 旅客案内業務の経験が6か月あれば足りる。
- ウ. 実務経験は不要で事業者の推薦だけでよい。
- エ. 点検・整備又は整備管理に関する2年以上の実務経験を有し、地方運輸局長が行う選任前研修を修了していること。

正答：エ

- ア × 運転免許だけでは整備管理者資格を満たさない。
- イ × 旅客案内経験は点検整備の実務経験ではない。
- ウ × 推薦だけでは足りない。
- エ ○ 正しい。実務経験2年以上と選任前研修修了が代表的な資格ルートである。

総合解説：整備士資格によるルートと、実務経験 + 研修のルートを区別する。

RY02-Q113 点検及び整備 > 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令） 難易度:2

整備管理者の資格要件として認められるものはどれか。

- ア. 一級、二級又は三級の自動車整備士技能検定に合格した者。
- イ. 運転免許を持つすべての者。
- ウ. フォークリフト技能講習修了者だけ。
- エ. 危険物取扱者免状だけを持つ者。

正答：ア

- ア ○ 施行規則は一級・二級・三級の自動車整備士技能検定合格者を資格要件の一つとしている。
- イ × 運転免許だけでは要件を満たさない。
- ウ × フォークリフト資格は整備管理者資格とは別である。
- エ × 危険物資格も直接の資格要件ではない。

総合解説：整備士資格を持つ場合は実務経験＋選任前研修とは別ルートで選任可能である。

RY02-Q114 点検及び整備 > 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令） 難易度:1

過去に整備管理者の解任命令を受けた者を事業用バスの整備管理者に選任する場合の制限として適切なものはどれか。

- ア. 解任翌日から必ず選任できる。
- イ. 原則として、解任の日から5年を経過していない者は選任できない。
- ウ. 2年だけ経過すればバスでも必ず選任できる。
- エ. 解任歴は整備管理者の資格要件に一切関係しない。

正答：イ

- ア × 解任命令後には一定期間の制限がある。
- イ ○ 正しい。施行規則上、バスなど所定区分では解任日から5年が基準となる。
- ウ × タクシー等の2年基準と混同しない。
- エ × 解任歴は資格要件に関係する。

総合解説：バスの5年と、タクシー等に適用される2年の区別を押さえる。

RY02-Q115 点検及び整備 > 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令） 難易度:2

整備管理者の権限として正しいものはどれか。

- ア. 運転者の運転免許を行政処分すること。
- イ. 旅行会社の旅行代金を決定すること。
- ウ. 日常点検の実施方法を定めること。
- エ. 道路交通信号の設置を決定すること。

正答：ウ

- ア × 免許行政の権限はない。
- イ × 旅行代金決定は整備管理の職務ではない。
- ウ ○ 正しい。整備管理者は日常点検の実施方法を定める権限を持つ。
- エ × 信号設置の権限はない。

総合解説：整備管理者は車両の点検・整備に関する具体的な権限を持つ。

RY02-Q116 点検及び整備 > 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令） 難易度:3

日常点検の結果に基づく整備管理者の業務として正しいものはどれか。

- ア. 旅行会社との契約金額だけを定めること。
- イ. 運転免許の停止期間を決めること。
- ウ. 道路の通行止めを解除すること。
- エ. 車両の運行の可否を決定すること。

正答：エ

- ア × 整備管理の職務ではない。
- イ × 公安委員会等の免許行政である。
- ウ × 道路管理等の権限である。
- エ ○ 正しい。整備管理者は日常点検結果を踏まえて車両の運行可否を決定する。

総合解説：人の状態をみる運行管理と、車両状態をみる整備管理を連携させる。

RY02-Q117 点検及び整備 > 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令） 難易度:1

整備管理者の定期点検に関する業務として正しいものはどれか。

- ア. 法定の定期点検を実施し、その実施状況を管理する。
- イ. 定期点検は整備管理者の業務から除外される。
- ウ. 定期点検をすべて運転者の任意判断に委ねる。
- エ. 定期点検の計画を作成してはならない。

正答：ア

- ア ○ 定期点検の実施は整備管理者の主要権限である。
- イ × 明確に業務に含まれる。
- ウ × 組織的に管理する必要がある。
- エ × 実施計画を定めることも権限である。

総合解説：整備管理者は法定周期を確実に履行させる中心役である。

RY02-Q118 点検及び整備 > 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令） 難易度:2

点検で不具合が見つかった場合の整備管理者の業務として適切なものはどれか。

- ア. 異常を記録だけして整備は行わない。
- イ. 点検結果に基づき必要な整備を実施する。
- ウ. 故障部品を外したまま必ず運行させる。
- エ. 乗客が少なければ整備の必要性を無視する。

正答：イ

- ア × 異常を放置してはならない。
- イ ○ 正しい。点検で必要と判断した整備を実施することは整備管理者の権限・業務に含まれる。
- ウ × 安全性を確保せず運行させてはならない。
- エ × 乗客数で整備義務は変わらない。

総合解説：点検結果を確実に整備へつなげる。

RY02-Q119 点検及び整備 > 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令） 難易度:2

整備管理者が定めるべきものとして正しいものはどれか。

- ア. 運転者の所得税率。
- イ. 道路標識の設置計画。
- ウ. 定期点検及び必要な整備の実施計画。
- エ. 旅行商品の販売計画。

正答：ウ

- ア × 税務の事項である。
- イ × 道路管理・公安行政の事項である。
- ウ ○ 正しい。整備管理者は定期点検・必要な整備の実施計画を定める。
- エ × 旅行商品の販売は整備管理ではない。

総合解説：計画整備により点検漏れと突発故障を防ぐ。

RY02-Q120 点検及び整備 > 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令） 難易度:3

整備管理者の記録管理業務として正しいものはどれか。

- ア. 記録簿はすべて運転者個人に任せ、管理しない。
- イ. 点検記録は事故時にだけ作成する。
- ウ. 記録簿を保存せず毎月廃棄する。
- エ. 点検及び整備に関する記録簿を管理する。

正答：エ

- ア × 組織として管理する必要がある。
- イ × 日常的・定期的な記録が必要である。
- ウ × 法定保存期間がある。
- エ ○ 記録簿管理は整備管理者の主要な権限・業務である。

総合解説：記録は点検実施の証拠だけでなく整備計画の基礎資料でもある。

RY02-Q121 点検及び整備 > 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令） 難易度:1

整備管理者の自動車車庫に関する業務として正しいものはどれか。

- ア. 自動車車庫を適切に管理する。
- イ. 車庫は運行管理者だけが管理し整備管理者は関与できない。
- ウ. 公道上を恒常的な車庫として指定する。
- エ. 車庫管理を旅行会社へ全面委任すれば法定管理は不要になる。

正答：ア

- ア ○ 正しい。整備管理者の権限には自動車車庫の管理も含まれる。
- イ × 整備管理者にも車庫管理権限がある。
- ウ × 適切な車庫を確保・管理する必要がある。
- エ × 外部委任で法定責任が当然になくなるわけではない。

総合解説：車庫環境は日常点検・整備作業の確実な実施にも関係する。

RY02-Q122 点検及び整備 > 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令） 難易度:2

整備管理者が運転者や整備員に対して行うべきこととして正しいものはどれか。

- ア. 運転者への車両点検教育は行ってはならない。
- イ. 点検・整備等に関して必要な指導・監督を行う。
- ウ. 整備員の作業内容を確認する権限はない。
- エ. 車両の安全状態に関する情報共有を禁止する。

正答：イ

- ア × 教育は重要な役割である。
- イ ○ 整備管理者には運転者・整備員等への指導監督権限がある。
- ウ × 整備業務の適切性を管理する。
- エ × 情報共有が必要である。

総合解説：安全管理は整備管理者単独ではなく、運転者等との連携で実効性が高まる。

RY02-Q123 点検及び整備 > 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令） 難易度:2

整備管理者を置く営業所の整備管理規程について正しいものはどれか。

- ア. 整備管理規程は作成してはならない。
- イ. 口頭の指示だけあれば規程は不要である。
- ウ. 整備管理者の業務内容や実施方法等を定めた整備管理規程を作成し、それに基づき業務を行わせる。
- エ. 規程には点検整備に関する事項を記載してはならない。

正答：ウ

- ア × 制度と逆である。
- イ × 組織的な整備管理の基準として規程が必要である。
- ウ ○ 施行規則第32条に基づき整備管理規程の作成が必要である。
- エ × まさに点検整備等を定める規程である。

総合解説：整備管理規程は担当者が変わっても管理水準を維持するための基礎となる。

RY02-Q124 点検及び整備 > 整備管理者（選任・資格・業務・解任命令） 難易度:1

整備管理者が法令等に違反し職務遂行が著しく不適切な場合の行政上の措置として正しいものはどれか。

- ア. 運送の依頼者が運転免許を取消す。
- イ. 整備管理者本人が国に対し営業所の閉鎖命令を出す。
- ウ. 違反があっても行政は何ら措置できない。
- エ. 地方運輸局長は、自動車の使用者に対し整備管理者の解任を命ずることができる。

正答：エ

- ア × 運送の依頼者に行政処分権はない。
- イ × 整備管理者が行政命令を発する制度ではない。
- ウ × 解任命令制度がある。
- エ ○ 道路運送車両法第53条は、整備管理者の法令違反等について使用者への解任命令を規定する。

総合解説：整備管理者は資格を置くだけでなく、実際に適切な職務遂行が求められる。

RY02-Q125 点検及び整備 > 整備命令 難易度:2

自動車が保安基準に適合しない状態、又は適合しなくなるおそれがある状態にあるときの措置として正しいものはどれか。

- ア. 地方運輸局長は、使用者に対して必要な整備を行うべきことを命ずることができる。
- イ. 使用者は必ず無条件で永久廃車にしなければならない。
- ウ. 運送の依頼者だけが整備命令を発令できる。
- エ. 保安基準不適合でも行政上の措置は一切ない。

正答：ア

- ア ○ 法第54条は、基準不適合又はそのおそれがある場合に整備命令を可能としている。
- イ × 必ず永久抹消になるわけではない。
- ウ × 行政権限である。
- エ × 整備命令制度が存在する。

総合解説：整備命令は保安基準適合状態への是正を求める制度である。

RY02-Q126 点検及び整備 > 整備命令 難易度:3

整備命令を受けた自動車の使用者の対応として正しいものはどれか。

- ア. 命令書を受け取っただけで整備は不要である。
- イ. 命令で定められた期間内に必要な整備を行い、保安基準に適合させる。
- ウ. 会社内で反対決議をすれば命令は自動的に消滅する。
- エ. 乗客が少ない日は命令対象箇所を直さず運行できる。

正答：イ

- ア × 命令は実際の整備を求める。
- イ ○ 正しい。整備命令に従い必要な整備を行う。
- ウ × 社内決議で行政命令が消えるわけではない。
- エ × 乗客数で命令は免除されない。

総合解説：整備命令を受けたら期限と対象箇所を管理し確実に是正する。

RY02-Q127 点検及び整備 > 整備命令 難易度:1

整備命令に従わない場合に生じ得る措置として正しいものはどれか。

- ア. 必ず自動的に運転者の免許が永久取消しとなる。
- イ. 何の不利益も生じない。
- ウ. 車両の使用停止命令や罰則の対象となり得る。
- エ. 運送の依頼者にだけ罰則が科され、使用者には影響しない。

正答：ウ

- ア × 整備命令不履行の直接的な制度説明ではない。
- イ × 実効性確保の措置がある。
- ウ ○ 国土交通省は整備命令不履行について使用停止命令や罰則の対象となることを案内している。
- エ × 使用者への措置が中心となる。

総合解説：整備命令は単なる助言ではなく、履行を求める法的措置である。

RY02-Q128 点検及び整備 > 整備命令 難易度:2

不正改造により保安基準に適合しない状態となった自動車について正しいものはどれか。

- ア. 不正改造車は車検証が有効ならば正対象にならない。
- イ. 不正改造は私有車だけの問題で事業用車には適用されない。
- ウ. 改造した者が不明なら保安基準不適合のまま運行してよい。
- エ. 使用者に必要な整備を命じ、整備後の現車提示等を求める仕組みがある。

正答：エ

- ア × 車検有効期間中でも不適合は是正対象となる。
- イ × 事業用車にも適用される。
- ウ × 使用者は適合状態を維持する必要がある。
- エ ○ 法第54条の2等により、不正改造車への整備・提示命令等が設けられている。

総合解説：不正改造は「車検時だけ」の問題ではなく、公道運行中も排除対象となる。

RY02-Q129 保安基準 > 長さ・幅・高さ・車両総重量 難易度:2

道路運送車両の保安基準における自動車の長さの一般的な上限として正しいものはどれか。

- ア. 12メートル（一定のセミトレーラは13メートルの特例がある）。
- イ. 9メートルで一切例外がない。
- ウ. 15メートルで一切例外がない。
- エ. 20メートルがすべての自動車の一般上限である。

正答：ア

- ア ○ 保安基準第2条は長さ12mを基本とし、告示で定める一定のセミトレーラに13mの扱いがある。
- イ × 一般上限ではない。
- ウ × 一般上限を超えている。
- エ × 連結車の通行制度等と混同している。

総合解説：車両単体の保安基準と、道路法上の特殊車両通行制度を区別する。

RY02-Q130 保安基準 > 長さ・幅・高さ・車両総重量 難易度:3

基準緩和等の特例を受けていない一般的なバスについて、車幅を実測したところ2.55メートルであった。保安基準上の評価として適切なものはどれか。

- ア. 3.8メートル以下なので幅の基準に適合する。
- イ. 一般的な幅の上限2.5メートルを超えており、そのままでは一般基準に適合しない。
- ウ. 12メートル以下なので幅の基準に適合する。
- エ. 乗車定員が少なければ幅の上限は適用されない。

正答：イ

- ア × 3.8メートルは高さの基本値である。
- イ ○ 正しい。一般的な自動車の幅は2.5メートルが基本上限である。
- ウ × 12メートルは長さの基本値である。
- エ × 乗車定員だけで幅上限が消えるわけではない。

総合解説：長さ・幅・高さの数値を対応させて判断する。

RY02-Q131 保安基準 > 長さ・幅・高さ・車両総重量 難易度:1

基準緩和等の特例がない一般的なバスの高さが3.75メートルであった。この車両の高さだけを一般上限と比較した判断として正しいものはどれか。

- ア. 2.5メートルを超えているため高さについて不適合である。
- イ. 3メートルを超える自動車はすべて高さ基準不適合である。
- ウ. 3.8メートル以下であるため、高さについては一般上限の範囲内である。
- エ. 12メートル未満であることだけを理由に高さ基準に適合すると判断する。

正答：ウ

- ア × 2.5メートルは幅の基本上限である。
- イ × 3メートルが一律の上限ではない。
- ウ ○ 正しい。一般的な高さの上限は3.8メートルである。
- エ × 12メートルは長さの基本上限である。

総合解説：長さ12m・幅2.5m・高さ3.8mという基本値を区別する。

RY02-Q132 保安基準 > 長さ・幅・高さ・車両総重量 難易度:2

セミトレーラ以外の自動車で、最遠軸距が5.5メートル未満の場合の車両総重量の上限として正しいものはどれか。

- ア. 18トン。数値基準は、対象となる車両・業務・期間を確認した上で適用する。
- イ. 25トン。原則と例外・特例のどちらを問う設問かを区別して判断する。
- ウ. 36トン。対象区分が異なれば別の数値基準が適用される場合がある。
- エ. 20トン。現行基準と改正前の旧基準を混同しないことが必要である。

正答：エ

- ア × 隣接軸重等と混同しやすい。
- イ × 一定の長い軸距等の条件で適用される値と混同している。
- ウ × 告示で定める特定セミトレーラの値である。
- エ ○ 保安基準第4条は、セミトレーラ以外で最遠軸距5.5m未満の場合20tとしている。

総合解説：車両総重量は一律20tではなく、車種・最遠軸距・長さ等で上限が変わる。

RY02-Q133 保安基準 > 長さ・幅・高さ・車両総重量 難易度:2

セミトレーラ以外の自動車以最遠軸距が7メートル以上、かつ長さが11メートル以上の場合、保安基準上の車両総重量の上限として正しいものはどれか。

- ア. 25トン。数値基準は、対象となる車両・業務・期間を確認した上で適用する。
- イ. 20トン。原則と例外・特例のどちらを問う設問かを区別して判断する。
- ウ. 22トン。対象区分が異なれば別の数値基準が適用される場合がある。
- エ. 36トン。現行基準と改正前の旧基準を混同しないことが必要である。

正答：ア

- ア ○ 保安基準第4条では、当該条件のセミトレーラ以外の自動車は25tが上限となる。
- イ × 最遠軸距5.5m未満等の値と混同している。
- ウ × 長さ9m以上11m未満等の条件で用いられる値と混同している。
- エ × 一定の特定セミトレーラの値である。

総合解説：総重量問題は「車種→最遠軸距→車長」の順に条件を読む。

RY02-Q134 保安基準 > 長さ・幅・高さ・車両総重量 難易度:1

自動車の軸重の一般的な上限として保安基準に定められているものはどれか。

- ア. 5トン。数値基準は、対象となる車両・業務・期間を確認した上で適用する。
- イ. 10トン（告示で定める一部けん引自動車に特例あり）。原則と例外・特例のどちらを問う設問かを区別して判断する。
- ウ. 20トン。対象区分が異なれば別の数値基準が適用される場合がある。
- エ. 25トン。現行基準と改正前の旧基準を混同しないことが必要である。

正答：イ

- ア × 一般の輪荷重の値と混同しやすい。
- イ ○ 保安基準第4条の2は軸重10tを原則とし、一部けん引自動車に11.5tの特例を置く。
- ウ × 隣接軸重・車両総重量と混同している。
- エ × 車両総重量の一部条件の値である。

総合解説：車両総重量と軸重・輪荷重は別の制限である。

RY02-Q135 保安基準 > 長さ・幅・高さ・車両総重量 難易度:2

後写鏡等の突出について保安基準の考え方として正しいものはどれか。

- ア. 後写鏡は車体の外側へ1ミリも突出してはならない。
- イ. 後写鏡はどれだけ突出しても制限がない。
- ウ. 後写鏡等は所定の測定方法で、車体最外側や高さから一定範囲内の突出が認められる。
- エ. 突出量は運転者が自由に決められ、基準は存在しない。

正答：ウ

- ア × 実用上必要な突出が認められる。
- イ × 無制限ではない。
- ウ ○ 第2条は後写鏡等について安全上必要な一定の突出範囲を規定している。
- エ × 具体的な基準がある。

総合解説：寸法上限には安全装置等の合理的な取扱いが設けられている。

RY02-Q136 保安基準 > 長さ・幅・高さ・車両総重量 難易度:3

保安基準の長さ・幅・高さ等を超える特殊な構造の車両について正しい考え方はどれか。

- ア. 営業所長が口頭で許可すれば自由に超過できる。
- イ. 特殊車両なら保安基準は一切適用されない。
- ウ. 運送の依頼者が同意すれば行政手続なしでよい。
- エ. 構造や使用態様が特殊で保安上・公害防止上支障がない場合、所定の認定により基準の一部が緩和されることがある。

正答：エ

- ア × 社内許可では足りない。
- イ × 緩和されるのは指定された基準等であり全面免除ではない。
- ウ × 運送の依頼者同意は法定認定の代替にならない。
- エ ○ 保安基準第55条には地方運輸局長による基準緩和制度がある。

総合解説：保安基準緩和と道路法上の特殊車両通行許可は別制度である点にも注意する。

RY02-Q137 保安基準 > 制動装置・警音器・後写鏡 難易度:1

車両総重量が2トンを超える自動車等の制動装置について、保安基準上正しいものはどれか。

- ア. 所定の制動性能を有する二系統以上の制動装置を備えることが求められる。
- イ. 制動装置は一切不要である。
- ウ. 自転車用の手動ブレーキ1個だけでよい。
- エ. 制動性能は車両総重量に関係なく基準が存在しない。

正答：ア

- ア ○ 保安基準は一定の自動車に二系統以上の制動装置と所定性能を求める。
- イ × 安全な運行に不可欠である。
- ウ × 自動車の保安基準を満たさない。
- エ × 具体的な性能基準がある。

総合解説：制動装置は「装備しているだけ」でなく必要な性能を有することが重要である。

RY02-Q138 保安基準 > 制動装置・警音器・後写鏡 難易度:2

警音器の装備について正しいものはどれか。

- ア. すべての自動車で警音器は禁止される。
- イ. 被牽引自動車を除く自動車には、基準に適合する警音器を備える。
- ウ. 被牽引自動車だけに警音器が必須である。
- エ. 警音器は音量・音色について何の基準もない。

正答：イ

- ア × 規定と逆である。
- イ ○ 保安基準第43条は、被牽引自動車を除く自動車に警音器を要求する。
- ウ × 被牽引自動車は除外される。
- エ × 音色・音量等に基準がある。

総合解説：警音器は他の交通への警告機能を確保しつつ、過度な妨害を防ぐ基準になっている。

RY02-Q139 保安基準 > 制動装置・警音器・後写鏡 難易度:2

大型バスの後写鏡・後方等確認装置に関する考え方として適切なものはどれか。

- ア. 鏡面が割れていても運転者が慣れていればよい。
- イ. カーテン等で視界が遮られてもそのままよい。
- ウ. 運転者が後方や側方の交通状況を必要な範囲で確認できる性能・取付状態を確保する。
- エ. 後写鏡は装飾品なので保安基準と無関係である。

正答：ウ

- ア × 破損した鏡は適切な確認ができない。
- イ × 視界確保が必要である。
- ウ ○ 正しい。後写鏡等は周囲確認に必要な性能・状態を維持する。
- エ × 保安基準の対象である。

総合解説：大型バスでは死角が大きいため後方・側方確認装置の機能維持が重要である。

RY02-Q140 保安基準 > 制動装置・警音器・後写鏡 難易度:3

制動装置に異常があり制動性能が保安基準を満たさないバスについて正しいものはどれか。

- ア. 乗客がいなければ制動性能不足でも運行できる。
- イ. 低速走行を約束すれば整備は不要である。
- ウ. 前照灯が正常ならブレーキ不良を相殺できる。
- エ. 必要な整備を行い、基準適合状態を回復させるまで運行させない。

正答：エ

- ア × 回送でも制動性能は必要である。
- イ × 低速でも制動装置不良は解消しない。
- ウ × 他装置の正常性で相殺できない。
- エ ○ 正しい。制動装置は安全に直結し、基準不適合状態で運行させない。

総合解説：点検でブレーキ異常を発見したときの運行可否判断にも直結する。

RY02-Q141 保安基準 > 灯火類（前照灯・尾灯・制動灯・方向指示器） 難易度:1

自動車の前照灯について保安基準上正しいものはどれか。

- ア. 原則として前面に走行用前照灯及びすれ違い用前照灯を備え、それぞれ所定の性能を満たす。
- イ. 前照灯は後面にだけ備える。
- ウ. 事業用バスには前照灯が不要である。
- エ. 前照灯は色や明るさについて何の基準もない。

正答：ア

- ア ○ 正しい。前照灯には照射性能・色等の基準がある。
- イ × 前方を照らす装置である。
- ウ × バスにも必要である。
- エ × 技術基準が定められている。

総合解説：照射性能と他交通への眩惑防止を両立する。

RY02-Q142 保安基準 > 灯火類（前照灯・尾灯・制動灯・方向指示器） 難易度:2

尾灯の目的として最も適切なものはどれか。

- ア. 前方の道路を遠くまで照射する。
- イ. 夜間に後方の交通へ自動車の存在や幅を示す。
- ウ. 右左折の意思だけを示す。
- エ. ブレーキ操作時だけ点灯して減速を示す。

正答：イ

- ア × 前照灯の役割である。
- イ ○ 尾灯は後方交通に車両の存在・幅を示すための灯火である。
- ウ × 方向指示器の役割である。
- エ × 制動灯の役割である。

総合解説：尾灯・制動灯・方向指示器の機能を区別する。

RY02-Q143 保安基準 > 灯火類（前照灯・尾灯・制動灯・方向指示器） 難易度:2

制動灯の機能として正しいものはどれか。

- ア. 常時前方を照らす。
- イ. 後退中であることを示す。
- ウ. 主制動装置を操作したことを後方の交通に示す。
- エ. 運転者が休憩中であることを示す。

正答：ウ

- ア × 前照灯の機能である。
- イ × 後退灯の機能である。
- ウ ○ 制動灯は制動操作を後続車等へ知らせる安全装置である。
- エ × そのような灯火機能ではない。

総合解説：追突防止のため、点灯状態を日常点検で確認する必要がある。

RY02-Q144 保安基準 > 灯火類（前照灯・尾灯・制動灯・方向指示器） 難易度:1

方向指示器の機能として正しいものはどれか。

- ア. 停車中の車内温度を示す。
- イ. 乗車人数を光で表示する。
- ウ. エンジンオイル量を後続車に示す。
- エ. 右左折又は進路変更を他の交通に示す。

正答：エ

- ア × 温度表示装置ではない。
- イ × 乗車人数表示装置ではない。
- ウ × 油量表示装置ではない。
- エ ○ 正しい。方向指示器は右左折・進路変更の意思を他の交通へ示す。

総合解説：日常点検では点滅具合、汚れ・損傷も確認する。

RY02-Q145 保安基準 > 灯火類（前照灯・尾灯・制動灯・方向指示器） 難易度:2

前部霧灯の取扱いについて保安基準上正しいものはどれか。

- ア. 自動車の前面に備えることができ、霧等で視界が制限される場合に前方照度を増加させる性能等の基準がある。
- イ. すべてのバスに常に3個以上装着する義務がある。
- ウ. 後面にだけ装着しなければならない。
- エ. 他の交通を眩惑するほど上向きに照射しなければならない。

正答：ア

- ア ○ 正しい。前部霧灯は備えることができる灯火で、取付位置・光度等に基準がある。
- イ × 一律3個以上の義務ではない。
- ウ × 前部霧灯は前面に備える。
- エ × 眩惑を生じない基準が必要である。

総合解説：必須灯火と任意装備できる灯火を区別する。

RY02-Q146 保安基準 > 灯火類（前照灯・尾灯・制動灯・方向指示器） 難易度:3

自動車に追加の装飾灯を取り付ける場合の考え方として正しいものはどれか。

- ア. 車体に付けば色・点滅方法はすべて自由である。
- イ. 法定灯火と類似して他の交通を誤認・妨害させるおそれのある灯火等は備えてはならない。
- ウ. 会社の広告目的なら緊急自動車のような灯火を自由に使える。
- エ. 運送の依頼者の承諾があれば保安基準の灯火制限は適用されない。

正答：イ

- ア × 灯火には保安基準がある。
- イ ○ 保安基準第42条は他交通の妨げとなるおそれのある類似灯火等を制限する。
- ウ × 誤認を招く灯火は認められない。
- エ × 私人間の承諾で基準を免除できない。

総合解説：不正改造では違法な灯火類も重点的な確認対象となる。

RY02-Q147 保安基準 > 非常信号用具・消火器・座席ベルト・非常口 難易度:1

事業用のバス・タクシーに備える非常信号用具について正しいものはどれか。

- ア. 非常信号用具は四輪車では禁止されている。
- イ. 故障時は前照灯だけあれば非常信号用具は不要である。
- ウ. 非常時に灯光を発して他の交通に危険を知らせることができる、基準に適合した非常信号用具を備える。
- エ. 非常信号用具は乗客の手荷物固定に使用する器具である。

正答：ウ

- ア × 必要な自動車に装備する。
- イ × 前照灯とは別の非常時用具である。
- ウ ○ 正しい。発炎筒等の非常信号用具は使用できる状態にしておく。
- エ × 手荷物固定具ではない。

総合解説：有効期限・損傷等も含め使用可能な状態を確認する。

RY02-Q148 保安基準 > 非常信号用具・消火器・座席ベルト・非常口 難易度:2

旅客運送用自動車の座席ベルトについて正しい考え方はどれか。

- ア. 旅客車には座席ベルトに関する保安基準が一切ない。
- イ. ベルトが切れていても車検証が有効なら問題ない。
- ウ. 短距離運行の日はベルトを取り外してよい。
- エ. 車種・座席・製作時期等に応じて保安基準に適合する座席ベルト等を備え、正常に使用できる状態を保つ。

正答：エ

- ア × 旅客車にも基準がある。
- イ × 車検証の有効性だけで装置不良が許容されない。
- ウ × 任意に取り外せない。
- エ ○ 正しい。座席ベルトの装備・性能基準は車種や座席区分等に応じて定められている。

総合解説：道路交通法上の着用義務と、車両法上の装備・性能基準を区別する。

RY02-Q149 保安基準 > 非常信号用具・消火器・座席ベルト・非常口 難易度:2

保安基準上、消火器を備えなければならない旅客車の例として正しいものはどれか。

- ア. 乗車定員11人以上の自動車。
- イ. 一般の自家用乗用車は乗車定員に関係なくすべて2本必須である。
- ウ. タクシーは乗車定員10人以下でも例外なく大型消火器を2本備えなければならない。
- エ. 自動車には消火器の装備規定が存在しない。

正答：ア

- ア ○ 正しい。保安基準47条は乗車定員11人以上の自動車等に消火器を求める。
- イ × すべての自家用乗用車に一律義務ではない。
- ウ × タクシーにそのような一律2本基準ではない。
- エ × 消火器の装備規定がある。

総合解説：バスでは消火器の備付けと使用可能状態の確認が重要である。

RY02-Q150 保安基準 > 非常信号用具・消火器・座席ベルト・非常口 難易度:3

非常口の装備義務について、旅客用バスとの関係で正しいものはどれか。

- ア. 乗車定員10人以下のタクシーにも必ず2個の非常口が必要である。
- イ. 幼児専用車及び乗車定員30人以上の自動車には、一定の例外を除き基準に適合する非常口が必要である。
- ウ. すべてのバスは乗車定員に関係なく必ず非常口を2個備える。
- エ. 自動車には非常口の保安基準そのものが存在しない。

正答：イ

- ア × タクシーに一律2個義務ではない。
- イ ○ 正しい。保安基準26条は幼児専用車及び乗車定員30人以上の自動車に非常口を求める（一定例外あり）。
- ウ × 乗車定員等の条件がある。
- エ × 非常口の保安基準が存在する。

総合解説：旅客試験ではバスの非常口・消火器・座席ベルトを対象条件と結び付けて覚える。